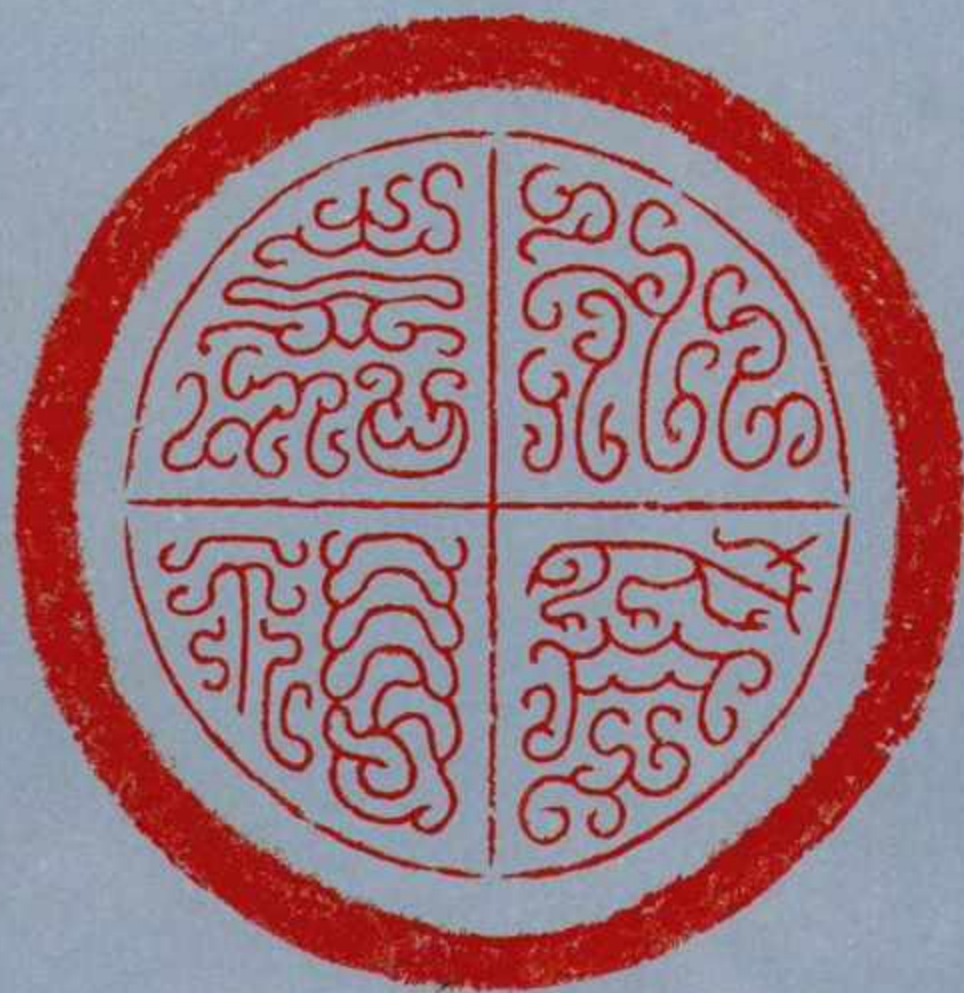


徳島県美術家協会

美術年報

2023



目次

はじめに.....	徳島県美術家協会会長 松永 勉	1	
令和4年事業報告.....		3	
令和4年度役員名簿.....		6	
令和4年度各部役員名簿.....		7	
第28回放美展記録		12	
第28回放美展出品・入選等状況		17	
第28回放美展公募規定		18	
第76回徳島県美術展記録		19	
第76回徳島県美術展出品・入選等状況		28	
第76回徳島県美術展公募規定		29	
徳島県美術展審査員一覧.....		30	
徳島県美術展開催運営要項.....		34	
第18回徳島県こども美術展		38	
第18回徳島県こども美術展出品・入選等状況		39	
第76回徳島県展選抜展		40	
2022年各部記録			
・日本画部.....	部会長 岡 英彦	42	
・洋画部.....	部会長 平木 美鶴	45	
・写真部.....	部会長 上野 照文	52	
・彫刻部.....	部会長 井下 俊作	56	
・美術工芸部.....	部会長 松下 慶一	61	
・書道部.....	部会長 隅田 英二	65	
・デザイン部.....	部会長 坂野美恵子	72	
徳島県美術家協会規約.....		76	
後援承認事務取扱規定.....		77	
後援名義使用承認申請書様式.....		78	
令和4年度会員名簿			
・日本画部.....	80	・美術工芸部	87
・洋画部.....	81	・書道部	89
・写真部.....	84	・デザイン部	98
・彫刻部.....	87		

あとがき

はじめに

徳島県美術家協会

会長 松 永 勉

昨年2月に始まったロシアによるウクライナへの軍事侵攻は、世界中の人々を震撼させました。多くの命を奪い、数百万人の避難が余儀なくされています。爆撃はウクライナの全土に及び、芸術作品や文化遺産にも大きな損失を与えているようです。これまで、100箇所以上の歴史文化遺産の建造物が破壊されており、多くの美術館、博物館が脅威にさらされています。キーウのイバンキフ歴史郷土博物館における爆撃により、ピカソも絶賛した素朴派を代表する画家マリア・プリマチェンコ作品25点が焼失したとの報道には衝撃を受けました。また、ハルキウの美術館でも、建物被害によって25,000点を超える作品が風雨にさらされている状態と聞きます。これらを含めて、世界中の芸術家がロシアを強く非難しています。日本でも馴染みの深いウクライナ出身の現代美術家、イリア & エミリア・カバコフは、平和への願いを込めた作品「手をたずさえる塔」を大地の芸術祭2022で発表しました。同じく、ロシアの作家ムロムツェフは、越後妻有里山現代美術館 MonET で特別展示として反戦の作品を発表しました。ロシアのプーシキン美術館副館長は、抗議して辞任しています。このように、芸術家達は反戦やウクライナへの思いを表現する姿が目立ったようです。

そのような状況下、第76回県展PR用のポスターデザインが募集されました。応募作品40点のうち、高校生の滝沢凜さんが提案した、ロシアによるウクライナ侵攻に焦点を当て平和を願って表現したデザインの作品が最優秀賞に選ばれたことは印象的でした。

さて、第28回放美展は、コロナ禍で2年続けて中止、延期され、3年ぶりの開催となりました。搬入に関しては、十分なコロナ感染対策を講じるために新しい方法に変更したこと、関係者の協力のおかげで、スムーズに運営することができました。放美展では各部門とも若手からベテランまで幅広い年代からの出品作品が同じ舞台で競い合っており、その中から素晴らしい作品が放美賞に選ばれました。ただ、公開審査やギャラリートークが実施できなかったことが、残念に思われました。

第76回徳島県美術展は、7部門に、前回の現代アートを改称したクリエイター部門を加えて、3期に分けての開催となりました。ここでもコロナ対策のため、審査は非公開になりましたが、7部門とも県外審査員による審査を行うことができました。各部門、特別賞には、レベルの高い秀作が選ばれました。そのうちクリエイター部門では、美術家協会長賞にMIKIさんの「さくらんぼ狩り」が決まりました。観客が画面に浮き出たさくらんぼの実を

収穫できる、ユニークな発想の参加型作品です。この部門には、これまでにない種類の作品を出品・展示して欲しいと願った主催者の思いが反映されてきているようです。また、今回新しく、鑑賞者が投票で作品を選ぶギャラリー賞を設定しました。このことは、一層鑑賞者と作品の距離を縮めたように思います。結果、多くの投票が寄せられ、投票者の中から抽選で1名に賞品が贈呈されました。地域の芸術文化の推進を図ることを目的とした、吉野川市にて開催した「第76回徳島県展選抜展」は、4回目になり、多くの来場者を迎え盛況でした。

こどもの豊かな感性の育成を目指す「第18回徳島県こども美術展」は、絵画と書写を合わせてこれまで最多の15,000点を超える応募がありました。絵画の部、県知事賞の助任小学校5年生の藤井晃太郎さんの作品は、画面の半分に虎の形を入れた大胆な構図と緻密な描き込みが素晴らしい出来栄でした。書写の部、県知事賞の半田小学校5年生の師水咲和さんの「広がる夢」は、文字の配置がバランス良く伸びやかに書けていて仕上がりの良い作品でした。入賞、入選作品の展示は、県展と同時期に開催され、多数の見学者がありました。

その他、昨年の県内で開催された美術展をいくつか紹介します。まず、長年本協会の役員をされ一昨年に逝去された写真家の櫛淵魏氏の遺作写真展が、3月に県立近代美術館ギャラリーで開催されました。伝統や歴史的世界をモチーフとして黒白のコントラストで表現した見事な写真の数々が展示されていました。美協の「彫刻部会展」は、コロナ禍の影響で1年延期され6月の開催となり、会員などの18名が多彩な素材の作品を発表しました。次に、美協の「第35回洋画部会員展」が、7月にあわぎんホールでありました。洋画部会の会員72名の出品があり、日ごろの成果を伺わせる力作が並べられていました。

慶事として、洋画部会員の四宮久子さん、美術工芸部会員の森賢一さんの2人が「第14回とくしま芸術文化賞」に選ばれました。長年の制作活動が評価されたものだと思います。心よりお祝い申し上げます。

訃報については、当協会で長年にわたって理事を務められ、彫刻部会のお世話をいただいた鎌田邦宏氏が7月23日に80歳で逝去されました。遺徳を偲び、心よりご冥福をお祈りいたします。

最後になりましたが、徳島県、徳島新聞社、四国放送及び徳島県美術家協会関係者の皆様の当協会に対するご協力ご支援に心より感謝の意を表します。

令和5年3月

令和4年事業報告(2022.1.1～2022.12.31)

- (1) 総 会 ◇令和4年5月21日(土)に予定していたが、新型コロナ感染拡大防止から中止。書面開催となった。
- (2) 第28回放美展(別掲)
- (3) 第76回徳島県美術展(別掲)
- (4) 第18回徳島県こども美術展(別掲)
- (5) 第76回徳島県美術展 選抜展(別掲)
- (6) 関係会議 ◇3月10日(木) 第75回(2021)県展 第4回運営委員会 徳島新聞社
 ◇3月12日(土) 理事会 あわぎんホール
 ◇4月15日(金) 第28回(2022)放美展 第2回運営委員会 四国放送
 ◇6月30日(木) 第76回(2022)県展 第1回運営委員会 徳島新聞社
 ◇8月18日(木) 第76回(2022)県展 第2回運営委員会 徳島新聞社
 ◇11月25日(金) 第29回(2023)放美展 第1回運営委員会 四国放送
- (7) 部会行事 ◇洋 画 部 第34回洋画部会員展(4.7.7～7.10) あわぎんホール
 ◇彫 刻 部 彫刻部会展 (4.6.8～6.12) 阿波銀プラザ
 ◇デザイン部 デザイン部グラフィックデザイン展
 (4.12.13～12.22) 四国大学
- (8) 各種後援 ◎第53回 モダンアート徳島支部展 (4.1.13～1.19)
 ◎第43回 八紅展 (4.1.27～1.30)
 ◎第17回 二市絵画交流展 (4.2.5～2.6)
 ◎四国大学書道文化学科卒業制作展 (4.2.11～2.13)
 ◎第45回 東玄書道会展 (4.2.11～2.13)
 ◎櫛淵 魏 遺作展 (4.3.11～3.13)
 ◎第54回 書道研究 清潮書作展 (4.3.11～3.13)
 ◎第42回 書研社展 (4.3.25～3.27)
 ◎第49回 光輪社書作展 (4.3.25～3.27)
 ◎第16回 令和3年度 徳島大学書道部・OB会書作展 (4.4.1～4.3)
 ◎第28回 歌の会書作展 (4.4.1～4.3)
 ◎鳴門水彩美学展 (4.4.9～4.12)

◎第 80 回記念 世代美術展	(4.4.21 ~ 4.24)
◎第 36 回 正鋒会書展	(4.4.29 ~ 5.1)
◎虹光会書展	(4.4.29 ~ 5.1)
◎第 44 回 写真同人「炎」作品展	(4.5.27 ~ 5.29)
◎第 58 回 溪生社水墨画展	(4.5.27 ~ 5.29)
◎第 38 回 徳島平和美術展	(4.6.2 ~ 6.5)
◎徳島アート 21 第 19 回展	(4.6.2 ~ 6.5)
◎第 43 回 東光会徳島支部展	(4.6.3 ~ 6.5)
◎吉野川市芸術祭 第 18 回 総合美術展	(4.7.9 ~ 7.10)
◎国宝・重要文化財から芸術文化の美	(4.7.16 ~ 7.26)
◎左十志と茂吉展 ~明日へつなぐ~	(4.7.16 ~ 7.26)
◎東 南光 先生 遺作展	(4.8.5 ~ 8.7)
◎事業団設立 50 周年記念 ワクワク夜の美術館~世界の名画めぐり	(4.8.6)
◎第 62 回 写楽会写真展	(4.8.19 ~ 8.21)
◎第 12 回 阿波美術の森 作品展	(4.8.31 ~ 9.4)
◎第 87 回 書芸院展 -じゃんけんぼん-	(4.9.1 ~ 9.4)
◎第 8 回 青藍会書作展	(4.9.16 ~ 9.17)
◎第 67 回 書協人展	(4.9.16 ~ 9.18)
◎第 16 回 写真同人「光」写真展	(4.9.17 ~ 9.19)
◎第 28 回 徳島障がい者芸術祭エナジー 2022	(4.10.4 ~ 10.9)
◎第 28 回 三美書研展	(4.10.14 ~ 10.16)
◎第 8 回 琴清会書展	(4.10.14 ~ 10.16)
◎第 11 回 一般社団法人 二科会写真部徳島支部展	(4.10.28 ~ 10.31)
◎第 25 回記念 泰書展 テーマ:宙	(4.10.29 ~ 10.30)
◎第 46 回 旺玄会徳島支部展	(4.11.2 ~ 11.8)
◎第 14 回 徳島絵画美学展	(4.11.4 ~ 11.7)
◎第 36 回 藍美展	(4.11.11 ~ 11.13)
◎西川周三・敬子回顧展	(4.11.13 ~ 11.20)
◎第 25 回 せゝらぎ書展	(4.11.18 ~ 11.20)
◎第 52 回 直心会展	(4.11.18 ~ 11.20)
◎第 12 回 徳島女流美術展	(4.11.19 ~ 11.22)
◎第 19 回 徳島版画展 + 高知版画協会交流展	(4.11.23 ~ 11.27)
◎第 18 回 吉野川市書人会作品展	(4.11.25 ~ 11.27)
◎第 52 回 芳藍書道展	(4.11.25 ~ 11.27)
◎第 53 回 ナルトびんぼけクラブ写真展	(4.11.25 ~ 11.27)
◎第 52 回 石井美術の会 作品展	(4.11.26 ~ 11.30)

- ◎第 25 回 溪生社水墨画小品展 (4.12.2 ~ 12.4)
- ◎第 42 回 臨池書展 (4.12.3 ~ 12.4)
- ◎第 7 回 書道創作グランプリ (4.12.3 ~ 12.11)
- ◎第 7 回 写真倶楽部八丁目写真展 (4.12.9 ~ 12.11)
- ◎県美術家協会デザイン部グラフィックデザイン展 (4.12.13 ~ 12.22)
- ◎第 51 回 歳末チャリティー美術展 (4.12.15 ~ 12.18)
- ◎第 26 回 尚真書展 併催ジュニア展 テーマ：言の葉の調べ
(4.12.16 ~ 12.18)

令和4年度 役員名簿

会 長	松 永 勉	理 事	能 仁 華 瑤
副会長	西 野 和 男	"	宮 守 崇 流
"	荒 井 彭 仙	"	坂 野 美 惠子
事務局長	隅 田 英 二	"	福 井 章
理 事	岡 英 彦	"	田 中 一 郎
"	土 井 洋 子	"	沢 口 功
"	土 方 るみ子	監 事	中 西 芳 雄
"	中 西 芳 雄	"	四十宮 隆 志
"	平 木 美 鶴	顧 問	長 尾 弘 子
"	西 川 周 三	"	河 崎 良 行
"	伊 勢 浩 章		
"	嵯 峨 潤 三		
"	鈴 木 敬 子		
"	上 野 照 文		
"	橋 本 圭 祐		
"	井 藤 光 章		
"	林 敏 彦		
"	増 田 寿		
"	井 下 俊 作		
"	居 上 真 人		
"	上 月 佳 代		
"	東 光 司		
"	松 下 慶 一		
"	森 賢 一		
"	森 明 治		
"	藤 井 哲 信		
"	隅 田 英 二		
"	竹 田 和 代		

令和4年度 各部役員名簿

日本画部

部会長	岡	英彦
委員	長尾弘子	
"	西野和男	
"	土井洋子	
"	土方るみ子	
"	柳田一子	
"	坂容子	
"	梶浦千瑞	
監事	中西芳雄	
"	日浦猛史	
事務局員	日浦猛史	
"	柳田一子	

洋画部

部会長	平木美鶴	
委員	榊田務	
"	西川周三	
"	伊勢浩章	
"	嵯峨潤三	
"	鈴木敬子	
"	二條均	
"	遠藤誠一	
"	手塚てる子	
"	大西文代	
"	杉本祥子	
"	林伸也	
"	加川由紀子	
監事	伊勢浩章	
"	鈴木敬子	
事務局員	西川周三	
"	手塚てる子	

写真部

部会長
委員

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

"

監事

"

事務局員

"

上野照文
橋本圭
井藤光
林敏
増田泰
田村健
大森和住
川眞田慶
堀口幸
野藤み
梅本貞
岩崎英
平野史
賀川泰
船越正
大津勝
武地成
土橋佳
野口理
三森昭
田伸
井中憲
阿上部啓
福田隆
吉岸義
板谷よし
熊美
高橋一
田村泰
井住憲
阿上部啓

彫刻部

部会長
委員

"

"

"

"

監事

"

事務局員

"

"

井下俊作
居上真人
武田亜希子
東光司
木村大志
上佳代
武田亜希子
居上真人
木村大志

美術工芸部

部会長	松	下	慶	一
委員	山	上		馨
"	七	條	猪	三郎
"	矢	野	款	一
"	多	智	花	佐代子
"	森		賢	一
"	橘			惠
"	犬	伏		絢
"	斎	藤	和	彦
"	森		明	治
"	藤	井	哲	信
"	田	村	栄	一郎
"	大	貝	貞	雄
"	松	本		宏
"	丸	居	哲	雄
"	福	本	美	智代
"	長	尾	敏	子
"	上	田		優
"	内	藤	久	子
監事	大	貝	貞	雄
"	田	村	栄	一郎
事務局員	犬	伏		絢
"	松	本		宏

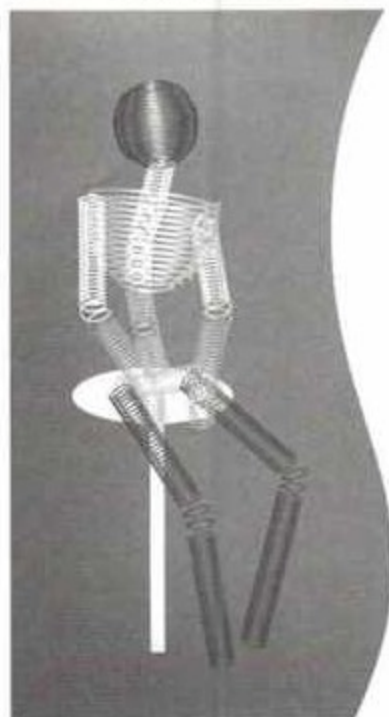
書道部

部会長	隅	田	英	二
委員	青	木	東	原
"	赤	川	景	舟
"	朝	三	阜	如
"	阿	部	博	子
"	荒	井	彭	仙
"	和	泉	和	舟
"	井	上	虹	雨
"	岩	本	志	豪
"	上	田	輝	芳
"	上	野	益	泉
"	内	田	麻	紀
"	大	下	江	波
"	大	西	清	葩
"	岡	崎	啓	香
"	沖	田	唐	谷
"	折	野	佳	子
"	折	野	幸	峰
"	加	村	喜	美子
"	亀	石	文	苑
"	川	上	虹	泉
"	河	野	真	流
"	河	野	多	美
"	川	端	康	清
"	川	村	春	琴
"	岸		緑	香
"	日	下	溪	翠
"	倉	本	景	雨
"	幸	田	清	尚
"	佐	野	収	華
"	清	水	桂	月

デザイン部

部会長	坂 野 美恵子
委 員	福 井 章
〃	田 中 一 郎
〃	沢 口 功
〃	敷 島 のり子
〃	吉 本 實
監 事	生 田 典 子
〃	天 羽 宏 美
事務局員	四十宮 隆 志
〃	山野井 宏 宗

第28回放美展記録



放美展

H3
第28回

☐	日	本	画	☐	☐	☐	☐
☒	洋	画	☐	☐	☐	☐	☐
☐	写	真	☐	☐	☐	☐	☐
☒	彫	刻	☐	☐	☐	☐	☐
☒	美	術	工	芸	☐	☐	☐
☐	書	道	☐	☐	☐	☐	☐
☒	デ	ザ	イ	ン	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	5	2	▶	5	5	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

主催：西宮市立文化センター・西宮市美術協会

特別協賛：西宮市庁

後援：西宮市、一般社団法人西宮新聞社

昨年一昨年と延期となっていた第28回放美展は、コロナ対策の措置が講じられ全部門開催することができた。審査は非公開とし、ギャラリートークは中止した。

作品搬入 4月28日(木) 9:30～12:00(業者)

13:00～19:00(個人)

審査・展示 4月29日(金) 9:05～13:00(写真・美術工芸・書道)

13:35～17:30(日本画・洋画・彫刻・デザイン)

会 期 5月2日(月)～5月5日(木)

時 間 10:00～17:00(入場は16時半まで)

会 場 あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)

表彰式 5月5日(木) 14:00～ あわぎんホール 5階

日本画

[審査員] 岡 英彦 土方るみ子 柳田 一子

[無鑑査] 富永 博子 西岡 ちほ

[放美賞] 大西 英徳

[優秀賞] 木原 典子

[四国大学賞] 関原 里桜

[入 選] 新居左よ子 水田 貴子 近藤 芳治 植田 忠生 岡 清海
大久保慎宙 今治 豊子 鈴木 恵子 久保 守近 井上 花菜
交合智紗希 勝間 萌唯 川田 彩乃 西田 江美

洋 画

[審 査 員] 榎田 務 伊勢 浩章 手塚てる子
[無 鑑 査] 杉本 祥子 鈴木 敬子 小笠原秋子 北村 照子
[放 美 賞] 山根萌々香
[優 秀 賞] 杉村 良典 大垣 沙虹 東條 咲希 忠津 憲穂 中村 俊夫
[四国大学賞] 泉 亜結莉
[入 選] 伊勢谷昭博 谷 慎也 大坪潤一郎 西條 敏夫 遠藤公美子
山上 勇 松浦 一 植村 美優 井添 弘美 新藤佐代子
長尾賀代子 為実美恵子 林 静代 藤本 誠子 宮内 一子
林 茂子 前野 亮治 林 敏雄 川中比沙子 小倉満智子
井関久美子 東條 博人 黒島 貞子 今井 雅省 防波堤一隅
西 広生 阿部 昌子 米田恵美子 武田 洋子 賀川紀美子
服部 和代 森本 一弘 篠原 稔 竹内 定義 西沢 幸広
押栗 洋子 田岡 町子 環 民子 田村 幸子 川人 健司
東原 綺子 岩井 春美 小池みどり 長岡 芽生 川人 文代
山上 和秀 小笠 正明 島田 純江 小野 怜奈 今川ころろ
中島 那寧 田上 愛莉 佐藤 未来 高橋 舞 石山 奈緒
高木 幸美 住友 洋士 坂東 悦子 福本 恵 西川 果苑
一宮ひかり 村川 千代 仁木 英子 花菱 良一 工藤 桂子
前田 凜花 野口 杏樹 天野 和子 大久保佐智子 松本 勇夫
坂本 百霞 横畠 寛 長尾 萌由 岩浅 真緒 中島 結菜
立花 心 大迫百々香 多田 彩音 正木 香乃 森浦 綾菜
高谷 優香 三東 遥華 由岐 花音 坂東 弘子
岡崎 恵 岡田 結愛

写 真

[審 査 員] 林 敏彦 増田 寿 大和 健司

[無鑑査]	野藤みきよ	熊谷美智子	福井 純子	高橋 一恵	野藤 敏美
[放美賞]	板東美智代				
[優秀賞]	幾田 茂仁	鈴江 純史	泉 清美	平土 貴子	谷 ひづる
	郡 英明	大島 茂信	福井 邦博		
[四国大学賞]	桑村 侑里				
[入選]	おどみ岐風	幾田 茂仁 ⁽²⁾	南 乙羽	笹岡 真裕 ⁽²⁾	村田 勝夫
	塩江 優	井上 義信 ⁽³⁾	佐藤 政男	加地 亮詞	杉本 昌弘
	武田 幸代 ⁽³⁾	今出 弘 ⁽²⁾	森住 孝義 ⁽³⁾	鈴江 純史	板東美智代 ⁽²⁾
	井内 紀文	佐々木 正	板東よしお ⁽³⁾	河野 俊文	邊見 博子 ⁽³⁾
	平島 久嗣	泉 清美	野田 賢 ⁽²⁾	谷 嘉明 ⁽³⁾	南 敦子 ⁽²⁾
	久保 朋也 ⁽²⁾	山田 喜吉	住友 登	田上 吉輝 ⁽³⁾	二階 博司
	三谷美津子 ⁽²⁾	喜多 昌弘	井上 康子	平土 貴子	平土 明弘 ⁽²⁾
	笠井 孝純	姫野 博司 ⁽³⁾	谷 ひづる ⁽²⁾	圓藤由貴子	古岡 友子
	藤本 祐二	桑村 侑里	吉田 隆之	郡 英明	廣野美知子 ⁽³⁾
	山上 道子 ⁽³⁾	山上 堯 ⁽³⁾	山下 修司	七條 浩一 ⁽²⁾	大野 光祥 ⁽²⁾
	柏原 史郎 ⁽³⁾	水口 ゆみ ⁽³⁾	大島 茂信	由水 忠徳 ⁽²⁾	秋山 修一 ⁽³⁾
	西尾 歩未 ⁽²⁾	武市 莉奈 ⁽²⁾	岡本 満幸	信田 幸一	庄野 里美 ⁽²⁾
	岡 三希生	板東 泰雄	福井 邦博 ⁽²⁾		

彫 刻

[審査員]	上月 佳代	東 光司	木村 大志		
[放美賞]	大貝 貞雄				
[優秀賞]	横畠 寛				
[四国大学賞]	長尾 和奏				
[入選]	吉田 陽子	猪井 賢二	森 克江	矢竹 敏昭	森 日香
	齋藤 巧真	井高 湖春	藤川 綺月		

美術工芸

[審査員]	松下 慶一	橘 恵	斎藤 和彦		
[無鑑査]	大貝 貞雄	松本 宏	前野 亮治	近藤佐起江	久保 英樹
[放美賞]	長尾 敏子				
[優秀賞]	井内久美子	三橋 玄児	上田 優		

[四国大学賞]	中谷	楓							
[入 選]	石井	春夫	家形笑美子	東條	容子	青木	壽美	石川	眞一
	高島	悦江	長尾賀代子	井開	洋子	中山	愛子	平尾	静子
	板東	啓子	村井 圭子	株木	瑠菜	久保	美夢	高部	紫音
	中野	結生	福原 楓	若田	隆義	岩佐	京子	尾崎	鳴海
	和佐	勝代	美馬 吉彦	平瀬	進也	大内	敏男	手塚	健一
	阿部	能則	河野 美枝	吉野	由紀	工藤	公子	濱口	正義
	豊島	悦子	清原 眞弓	高瀬	裕司	遠藤	勇	遠藤	好子
	毛利	貴子	上野 陽子	藤中	敦代	増田	裕子	元井	真紀
	谷田	千賀子	前川 政秀	田岡久美子		楽	趣	上久保	佳子
	十日	夜心	西内 貞二	松本みづる		武田	潤子	尾藤	芳尚
	原田	明子	四宮 千代						

書 道

[審 査 員]	上田 輝芳	岩本 志豪	山口 華城			
[無 鑑 査]	加川 翔子	田村 元帥	児玉 永祥			
[放 美 賞]	村上 芳春					
[優 秀 賞]	西 朱理	京野 白燕	逢坂羽瑠菜	高橋 叶愛	富永こはる	
	真鍋優妃乃	片山 結花	佐藤由紀代	庄野 信子		
[四国大学賞]	仁井 里穂					
[入 選]	伊藤 輝	光山 実沙	市原 彩光	深薮 美雪	木田美佐子	
	松村 就子	中西 之桐	丸岡 真弓	戸出 芳泉	手塚 浩美	
	大館 心美	斎藤 節子	田中 玲子	香川百々花	井野 恵風	
	芦和 晴佳	半瀬 愛実	阿竹 真優	吉岡 春鵬	佐渡 佳子	
	清水 青翠	佐竹 夏実	河野 春露	畠山 花鮮	谷内 花聲	
	前田 翠琉	岩崎 始花	吉田 百花	田中 子葉	佐藤 恵子	
	豊澤 実侑	北原 花音	木本 実佑	濱田 真愛	丸関多賀子	
	西川 実希	石井 未来	大平 静希	柴原 愛里	照本こころ	
	中田 勝也	森本 乃愛	米満 真凜	勝間 結菜	林 美羽	
	竹田千鶴子	北村 佳子	藤崎 友子	岸本 廣江	益田 順子	
	手水 彩夏	田尾 藍邨	先山 晴虹	木内 暎光	小笠 海雲	
	清水 芳雲	横瀬 采奈	佐藤 穂香	富山 愛梨	中川 小雪	
	組屋 雄紀	逸見 彩乃	大東 桃静	安友 志鳳	三木 紗月	
	影山 美佳	横谷 亮典	板東 利奈	安田希実子	上野 邦江	

鯉淵	輝川	竹島	華芳	東條	輝水	山蔭	玲翠	井上	景玄
野田	姫那	石原	実侑	小林	美紅	姫氏	原七星	井原	みく
田中	美紗	一ノ宮	菜緒	元木	奈々美	島田	莉沙	野村	真心
小川	湮	阿竹	真優	清水	谷夏央	嵯峨	衣織	武井	ひな
山田	美桜	小野	宙成	高瀬	大峯	川又	晃容	荒井	遥風
幸田	清尚	正見	逸久	久米	福恵	今治	宏美	川端	康清
森本	成玉	義富	博正						

デザイン

[審査員]	田中 一郎	敷島のり子	四十宮隆志				
[無鑑査]	田村 あい	山野井宏宗					
[放美賞]	KAZU.						
[優秀賞]	枋谷日菜子	斎村 美侑	粟飯原 稜				
[四国大学賞]	大東かのん						
[入選]	田中 公代	KAZU.	枋谷 光	松島 早紀	二宮 麻実		
	林 敏雄	土 緑 ⁽²⁾	小川 日菜	井上 陽向	葛蒲 千佳		
	村中 花音	中野瑛梨香	浪花 虹 ⁽²⁾	土井 由美	田中 我空		
	立津 沙羅	山本 哲也	佐々木小夏	橋本 伊吹	岡久 真依		
	大西 凌馬	大寺 宏宙	浦本 香鈴	抹 茶 K I ⁽³⁾	田村 侑誠		
	木戸 春花	圓藤 美希	笹橋 菜那	林 心愛 ⁽²⁾	森木 彩巴		
	塚本 愛理	中原実乃里	瀧口 汐音	菅野 真子	田岡 紗季		
	高力 理加 ⁽²⁾	檉原 望来	追立紗也佳	田中 美暉	米田 遥		
	金城 清雪	坂田 七海	信田 幸一	高橋 美妃	原 涼華		
	谷田 晶紀	坂田 美桜					

第 28 回放美展出品・入選等状況

区分 \ 部門		日本画	洋 画	写 真	彫 刻	美術工芸	書 道	デザイン	計
出 品 点 数		29	144	192	18	86	215	86	770
出 品 者 数		23	122	73	16	62	178	73	547
入 賞 ・ 入 選	放 美 賞	1	1	1	1	1	1	1	7
	優 秀 賞	1	6	8	1	3	9	3	31
	四国大学賞	1	1	1	1	1	1	1	7
	入 選 数	17	93	124	10	55	140	55	494
	計	20	101	134	13	60	151	60	539
	入 選 率	69.0	70.1	69.8	72.2	69.8	70.2	69.8	70.0
選 外	落 選 数	9	43	58	5	26	64	26	231
	落 選 率	31.0	29.9	30.2	27.8	30.2	29.8	30.2	30.0
無 審 査 出 品	審 査 員	3	3	3	3	3	3	3	21
	無 鑑 査	2	4	5	0	5	3	2	21
	計	5	7	8	3	8	6	5	42
展 示 数		25	108	142	16	68	157	65	556



会 場



表彰式

第 28 回放美展公募規定

区分	日本画	洋画	写真	彫刻
募集受付期間	令和4年4月9日(土)			
搬入日	令和4年4月28日(木)			
搬入場所	あわぎんホール 3階展示室(写真部門は4階展示室)			
審査日	令和4年4月29日(金)			
審査員	岡 英彦 土方るみ子 柳田 一子	樹田 務 伊勢 浩章 手塚てる子	林 敏彦 増田 寿 大和 健司	上月 佳代 東 光司 木村 大志
出品料	1点目 3,000円 2点目・3点目各 1,000円 高校生・高専生・大学生・専門学校生は1点 1,000円(2・3点目は無料)			
応募資格・出品制限等	・未公開作品に限る ・高校生以上 ・県内外不問 ・作品のみ送付は不可 ・1人3点以内			
入賞	・放美賞 各部門1点 ・優秀賞 出品数に応じて決定 ・四国大学賞 各部門1点(高校生・高専生(全学年)の入選作品から選出)			

区分	美術工芸	書道	デザイン
募集受付期間	令和4年4月9日(土)		
搬入日	令和4年4月28日(木)		
搬入場所	あわぎんホール 3階展示室(写真部門は4階展示室)		
審査日	令和4年4月29日(金)		
審査員	松下 慶一 橘 恵 斎藤 和彦	上田 輝芳 岩本 志豪 山口 華城	田中 一郎 敷島のり子 四十宮隆志
出品料	1点目 3,000円 2点目・3点目各 1,000円 高校生・高専生・大学生・専門学校生は1点 1,000円(2・3点目は無料)		
応募資格・出品制限等	・未公開作品に限る ・高校生以上 ・県内外不問 ・作品のみ送付は不可 ・1人3点以内		
入賞	・放美賞 各部門1点 ・優秀賞 出品数に応じて決定 ・四国大学賞 各部門1点(高校生・高専生(全学年)の入選作品から選出)		

- 注1) 入選数は出品点数に応じての規定数とする
 2) 選外作品及び展示作品は各部門の決められた日時までに搬出すること
 所定の期日までに搬出できなかった作品は出品者の送料負担(梱包料金を含む)で返送する

第76回徳島県美術展記録

今回展ではギャラリー賞を全部門に設けた。この賞は、来場者が入選作の中から1点を選び投票し、最多票の作品に与えられるもの。日本画、洋画、写真、彫刻、美術工芸、漢字・篆刻、仮名、近代詩文、前衛、デザインから各1点、計10点が選ばれた。

また投票者の中で最も多く該当作と一致した方に、日本画部会長の岡英彦作「白い船」が贈られた。

クリエイター部門

昨年第75回県展を記念して開催されたイベント「現代アート展」を改称して、今回展では「クリエイター部門」として開催された。

会 期 令和4年10月5日(水)～10(月・祝)

10:00～16:30(最終日は16時まで)

会 場 あわぎんホール2階 特別展示室

入場無料

[審査員] 佐原 理 友井 伸一 熊谷 昭史

[特 選] MIKI(徳島県美術家協会会長賞)

[準特選] 小浜かおり 坂本 憲治

[奨励賞] 今井 雅省 四国大学T-LAP Ten Kimiyo

[入 選] 前野 亮治 船越 正文 北村 敏(ギャラリー賞) 坂本 憲治

岩佐 京子 Sato プラットアートプロジェクト 正木 香乃

横畠 寛 乾 繁春 宮崎富美子 イエローハウス後藤光子

めんたい茶 晴 原 馨香 ひさねこ Karin(3)

山中 晴貴 山本 愛莉(2) 堀井 葉月 東 倅生



クリエイター部門会場

第76回徳島県美術展



- 会 期 第1期 日本画・洋画・彫刻
令和4年10月 5日(水)～10日(月・祝)
- 第2期 写真・美術工芸・デザイン
令和4年10月12日(水)～17日(月)
- 第3期 書道
令和4年10月19日(水)～24日(月)
- 10:00～16:30(最終日は16時まで)
- 会 場 あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)

日本画

[審査員]	小西 通博					
[特別出品]	西野 和男	岡 英彦				
[招待]	土方るみ子	中西 芳雄	日浦 猛史	柳田 一子	反田 卓	
	坂 容子	梶浦 千瑞				
[特選]	宮越 千佳	(徳島県議会議長賞)				
	大久保慎宙					
[準特選]	富永 博子	西岡 ちほ	久保 守近			
[奨励賞]	大栗美和子	平野 真里	関原 里桜			
[入選]	谷 尚武	(ギャラリー賞)		植田 忠生	石原 千鶴	後藤田 実
	岩木 寿美	鍋島治世子	交合智紗希	井上 花菜	勝間 萌唯	

洋画

[審査員]	川村 悦子					
[特別出品]	榎田 務	平木 美鶴				
[招待]	露口 敏幸	長尾 弘久	西川 周三	玉田 秀子		
[賛助出品]	松川 寛	中辻奈美枝				
[無鑑査]	板井 義典					
[特選]	松本 啓子	(徳島県教育委員会教育長賞)				
	林 静代	花菱 良一				
[準特選]	今井 雅省	西條 敏夫	小泉たか子	大西 文代	遠藤 誠一	
	立花 心					
[奨励賞]	杉本 祥子	大坪潤一郎	竹原 良亮	西 広生	小浜 敏也	
[入選]	小川 美輝	三井 均	佐藤 敬子	大垣 沙虹	大久保由子	
	武田 洋子	谷 慎也	松浦 一	大南 芳子	嵯峨 潤三	
	岩井 千晴	細谷 孝子	手塚てる子	笹田 義宏	青木 幸子	
	麻植 哲司	松本 勇夫	美馬 潤子	鹿山 公弘	内田 満	
	谷口 克子	西沢 幸広	小笠原秋子	伊勢 浩章	長尾賀代子	
	前野 亮治	田村 克也	西野 道夫	石幸 忠雄	蔭山 泰子	
	河野 博匡	遠藤公美子	永野 耕一	三木田真由美	田村 秀子	
	福良 哲子	森本 一弘	福井 摂哉	小倉満智子	藤井 香世	

服部 和代	折目 早苗	四宮 堤	黒島 貞子	湊 節子
米田恵美子	林 茂子	加川由紀子	船本三千夫	井添 弘美
阿部 昌子	林 敏雄	二條 均	田村 幸子	坂東 悦子
藤本 誠子	浅井 清司	藤井 博之	村上 初江	近清 哲夫
柏木 頼子	工藤 桂子	宮田 京子 (ギャラリー賞)	馬淵 尚子	馬淵 尚子
北村 照子	岩井 春美	土橋 正子	川上 晴美	趙 逸静
渡邊 小明	西田シャーナメイ	森崎 真由	吉岡 毅	山上 和秀
川人 健司	木村 尚美	小河 京子	東 紀美子	萩原 典子
吉岡 厚子	島津 千尋	鈴木 敬子	河村 君子	富本 勝子
平野 幸子	林 伸也	伊勢谷昭博	福本 恵	加賀谷愛美
佐藤 嘉子	下内千代子	環 民子	信田 幸一	天野 和子
藏本百合子	森 幸江	高田千代恵	島田 純江	村川 千代
河本多恵子	森本 操	大平 妙子	横畠 寛	川口 均
藤本 千秋	菊本 静子	植田フクミ	清原 眞弓	坂本 百霞
野口 暁子	山根萌々香	泉 亜結莉	多田 彩音	川口 弥子
西崎 志帆	日野 邦恵			

写真

[審査員] ハービー・山口

[特別出品] 上野 照文

[招待]	木田 英之	三好 和義	森 賢一	橋本 圭祐	前浦 芳久
	林 敏彦	井藤 光章	増田 寿	柳本 正	大和 健司
	船越 正文	岩崎 英昭	久保 英樹	堀口 幸男	森住 博
	平野 史子				

[無鑑査] 阿部 啓三 姫野 博司

[特選] 谷 ひづる (徳島市長賞)

	森内 昭男	幾田 茂仁	国見 良幸		
[準特選]	川真田慶治	板東美智代	鈴江久美子	秋山 修一	大津 勝治
	岡本 早苗	賀川 泰廣	宮本 幸治	高橋 一恵	

[奨励賞]	多川 静守	川野 阿佐	池田 啓子	山上 道子	原田 愛
	福井 純子	増田 実	廣野美知子		

[入選]	柳瀬 紳哉	川真田慶治	井内 紀文	森内 昭男	大島 茂信
------	-------	-------	-------	-------	-------

稲井 建司 ⁽²⁾	川西 明雄	井奥 清次	野田 賢 (ギャラリー賞) ⁽²⁾
板東美智代	棚橋 仁志	泉 清美 ⁽²⁾	古岡 友子 七條 浩一
水口 ゆみ	平島 久嗣 ⁽²⁾	河野 俊文	谷 嘉明 ⁽²⁾ 水口 義行 ⁽²⁾
鈴江 純史 ⁽²⁾	喜多 昌弘	田上 吉輝 ⁽²⁾	福原 敏雄 加藤 郁代
国見 良幸	久保 朋也	住友 登	西岡まゆみ ⁽²⁾ 吉田 隆之
野藤みきよ ⁽²⁾	高曾根信義 ⁽²⁾	井上 康子	三谷美津子 秋山 修一 ⁽³⁾
佐野 和史	川野 阿佐	大津 勝治	喜屋武美沙子 林 和彦
山上 堯 ⁽²⁾	山下 修司 ⁽²⁾	福井 純子 ⁽³⁾	岡本 早苗 井上 憲治
原 嘉久仁 ⁽⁴⁾	遠藤 博敏 ⁽³⁾	土橋 貴明	大森 孝克 近藤 博之 ⁽²⁾
岡本 満幸	田中 伸廣 ⁽²⁾	山田 喜吉	賀川 泰廣 有馬 正司 ⁽²⁾
鍋島治世子 ⁽³⁾	邊見 博子 ⁽²⁾	宮前 稔	庄野 里美 ⁽²⁾ 工藤 美弥 ⁽²⁾
谷 ひづる	福原 弘哲	板東よしお	増田 実 ⁽³⁾ 宮本 幸治
熊谷美智子 ⁽²⁾	廣野美知子	河野 悟子 ⁽³⁾	高橋 一恵 ⁽²⁾

彫 刻

[審査員] 西野 康造
 [特別出品] 松永 勉 井下 俊作
 [遺作出品] 佐藤 隆
 [招待] 居上 真人 上月 佳代 武田亜希子 木村 大志
 [特選] 大貝 寿子 (徳島新聞社長賞)
 [準特選] 吉田 陽子 東 光司
 [奨励賞] 二宮 治夫 小林 正則
 [入選] 横畠 寛 (ギャラリー賞) 中西ほのか 井高 湖春 藤川 綺月

美術工芸

[審査員] 宮田 亮平
 [特別出品] 七條猪三郎 松下 慶一
 [招待] 多智花佐代子 森 賢一 橘 恵 犬伏 絢 斎藤 和彦
 森 明治 藤井 哲信
 [賛助出品] 中川 存

[無鑑査]	田村栄一郎						
[特選]	田村 純子 (四国放送社長賞)						
	越 由子						
[準特選]	吉田 陽子	松本 宏	近藤佐起江	福本美智代			
[奨励賞]	四十宮年代	田村 公子	近藤美佐子				
[入選]	家形笑美子	三橋 玄児	楠 博子	上田 優	元井 真紀		
	山本 仁恵	東條 容子	金澤 博子	前野 亮治	島本 政子		
	柴 純代	河野美和子	川村 桂子	山田 和子	丸居 哲雄		
	増田 裕子	鳥井 明子	松原 敦子	谷中由佳里	大貝 貞雄		
	大貝 寿子	井上 英子	林 亜里紗 (ギャラリー賞)	増田 満			
	中山 愛子	森 克江	井開 洋子	濱口 正義	青木 壽美		
	大内 敏男	富永 裕子	河野 美枝	長尾賀代子	仁田 和子		
	遠藤玻都恵	小橋美知子	佐藤喜久子	喜多 岩夫	阿部 能則		
	近藤 眞子	内藤 久子	高橋 正昭	山本 由実	伊川 昌宏		
	前川 政秀	板東 啓子	久保 英樹 (2)	小笠原久美子	梶浦 令賀		
	武田 潤子	高瀬 裕司	近藤佐起江	吉野 由紀	西内 貞二		
	宮本 真弓	石川 眞一	杉原 悦子	藤中 教代	小林 清重		
	遠藤 好子	遠藤 勇	尾藤 芳尚	松本みづる	清原 眞弓		
	近藤 公人	手塚 健一	松永 卓司				

書 道

[審査員]	高木 聖雨	近藤 浩乎	奈良 尚石				
[特別出品]	荒井 彭仙	隅田 英二					
[招待]	清水 桂月	川上 虹泉	日下 溪翠	竹田 和代	山口 華城		
	武市 鳴雲	中尾 勝子	富久 鳴泉	永松 春苑	島田 小園		
	坂本 霽風	浜 佳香	多田 清芳	玉城 乾香	薄田 玲泉		
	能仁 華瑤	高田 青蓮	宇山 泰鳳	亀石 文苑	岩本 志豪		
	林 桂翠	山口 幽径	米澤 東籬	戸出 芳泉	平岡 幽琴		
	宮守 崇流	詫間 勝陽	向井 京子	川村 春琴	谷本 藍泉		
	林 美雪	上田 輝芳					
[無鑑査]	河野 多美	森 光翔	佐野 収華				
[特選]	杉本 裕子 (徳島県美術家協会会長賞)						

	辻 尚子	近藤 紀子	矢部 知子	田村 元帥	坂本 敬子
	玉城 若菜	岸 緑			
[準 特 選]	澤本 鈴美	櫻木貴美子	土井 和也	野口 有香	赤松 信映
	田渕 勲	倉本 節子	村田登志子	山本 愛美	山本 恵子
	高瀬 善郎	高橋美知江	梶川 佳奈	島尾 明良	
[奨 励 賞]	石井 瞳	斎藤 節子	平田 真紀	丸岡 由美	河野 幸太
	佐藤 美和	中村 公子	向井 境子	内田 麻紀	正見 千恵
	岡崎 啓子	木田 史子	林 歩花		
[入 選]					
漢字・篆刻					
	脇 博	大野シゲ子	上野 益代	折野 茂幸	杉本 妙子
	陶久 房枝	宮本 暁美	四宮 仁美	岡本美津代	村部 幸子
	柳本 真弓	樫原 知明	眞田 秋江	板東 亜美	市原 美希
	稲木 裕美	谷口 風稀	秋山 果菜	後藤 佳美	斎藤 裕子
	田中 玲子	河野久美子	寺田 美穂	山田みちる	山崎 真美
	吉平 順子	籾 品子	藤永 真里	松永 浩子	清水 宏子
	田尾 幹司	先山 明美	小笠 英文	佐野恵美子	加川 翔子
	上田美千代	井上 公子	谷本真由美	北村 浩子	木村 礼子
	林 美穂子	三好 元子	梶浦 令賀	真鍋 洋子	森口 月美
	泉川真理子	西川 実希	中村 美子	谷 令子	林 幸子
	山口 幸子	山本 安子	牧野ヨシミ	岡部ひとみ	恵美 恵子
	高柳 由美	磯川 味佳	多田みどり	島 智子	荒井 和子
	園尾 淑子	岩本 義浩	田中 利子	伊達三智子	光山 実沙
	深薮 美雪	木村 昌代	寺澤 歩花	麻植 柚花	吉倉 鉄雄
	塩田 龍澄	吉田 幸代	三木 孝之	松村 就子	大西 英徳
	片山 芳明	山中 佳子	山城美三子	守田 禎子	丸岡 真弓
	木内理映子	中川恵美子	奥田 文子	吉田 陽子	京野 美鈴
	前田 珠里	谷内 直美	香川百々花	由宇 典代	佐竹 夏実
	吉岡 逸子	鳩成 広美	谷 弘美	藤山真由里	仁木 輝実
	青木 博美	阿部 千明	沖田 章代	大塚 洋子	近藤 美香
	後藤 紀代	安友 彰子	吉村 敬子	長井あゆみ	遠藤 典子
	森川のぞみ	河見 忠信	鎌谷 幸代	楠本 俊枝	森本 裕子
	井野めぐみ	安友 孝宣	井内 久子	西 朱理	市原マサ子
	三谷貴美子	福家 佳余	逢坂優妃奈	田中 偉嗣	田中 育子

大東シズヨ	鈴木エリ子	山下弥栄子 (ギャラリー賞)	新見 辰馬
三好 恵子	柏尾美恵子	春藤 真紀	田上 洋子 弘田 敏章
日野出夏穂	稲井 知子	古川 恵巳	川田多賀子 (以上漢字)
内田美代子	島田 麻由	竹内やす子	横田 雅夫 養毛 真琴
田村 憲正	吉村 敬子	青木 幸代	小林 義治 (以上篆刻)

仮 名

村上 洋子	安田希実子	阿部 洋子	山本 美幸	小川美由紀
一ツ松真弓	豊岡真由美	仁井 和美	梅山 眞澄	須本 恵子
佐野 久美	山本 直美	濱口須美子	本川 恵子	吉田 純
井上 まり	高橋加奈子	廣瀬 久代	松本由希子	背川 章子
野上 美紀	井上 彰夫	吉岡 三枝	内田 道幸	出口末喜子
鈴江美音子	森崎佐和子	佐藤 佳子	伊藤 秀子	阿部 博子
折野 佳子	寺尾 俊通	町田 哲子	内田美代子	森本 明美
久住 律子	金子 博明	大西 英徳	中筋 良江	関根 史子
近藤真千子 (ギャラリー賞)	芳田 知子	篠賀 知代	古谷 和代	井上小百合
今津 英子	尾田 知恵	三好 育子	竹内 友里	中野 佑衣
長野 勇輝	西岡 幹朗	田岡佐記子	平尾 卓美	濱口 恵
林 英子	住友 春子	和泉かず子	加村喜美子	笠原小夜子
大久保雅子	岩佐 万葉	三宅 葉子	河野さち子	馬地 理恵
靴 真理子	脇坂 優	賛田美恵子	中川 年代	坪井 佳代
大倉悠季子	野木 友美		前田 愛香	宮内 礼子

近代詩文

坂尾 俊一	佐藤 恵子	清水美津子	武市 絢子	高橋 三紀
武田 淳子	玉城 安和	玉城 豪	田村 知恵	谷本富美世
富永美知子	長尾由美子	長原 七与	仁木シモエ	野田 満代
坂東 裕美	日野美佐子	福島 可琳	藤村 良枝	藤本 優子
丸田 三恵	森岡嗣雅子	森田 広子	森本知世子	森本 陽子
山本 勇	横関久美子	吉田さい子	和田 悦代	和田富美子
朝三 和子	荒井 弥和	井内 義典	今治 宏美	居和城幸代
遠藤玻都恵	大井 多栄	大西千鶴子	小野 幸久	賀上 宏実
桧山 正代 (ギャラリー賞)	栗山 弘子	川端喜美子	川又 敏香	金城 泰子
栗林 和江		幸田 康代	児玉 幸子	松村 雅子
生野 久美				

前 衛

大胡恵里香	長崎 香	大胡 真美	前川わかな	仁尾 みや
麻植塚由佳	藤本 智子	久米 千尋	川村 悠月	林 芽生
村田 泰輝	永井 厚子	中川 富量	中川 博雅	佐藤由紀代
義富 博正	大坂 昌代 (ギャラリー賞)	大久保 怜	木徳 英幸	
中川 晶裕	山田 美桜			

デザイン

[審査員]	新村 則人				
[特別出品]	田中 一郎	坂野美恵子			
[招待]	斎藤 繁次	敷島のり子	斎藤 剛	四十宮隆志	沢口 功
	斎藤志津子				
[特選]	森木 彩巴 (徳島県知事賞)				
	圓藤 美希				
[準特選]	齋藤 信子	佐藤あすか	天羽 姫凜		
[奨励賞]	山野井宏宗	笹橋 菜那	山本 心結		
[入選]	松島 早紀	枋谷日菜子	小川 日菜	齋藤 信子	斎村 美侑
	原 百那	吉村 敏嗣 (ギャラリー賞)		信田 幸一	松崎 葵
	正木 香乃	内海 舞雪	稲岡 千夏	二宮 麻実	大東かのん
	清水 愛美	天羽 姫凜	笹橋 菜那	林 心愛	菅野 眞子
	瀧口 汐音	中原実乃里			

第 76 回徳島県美術展出品・入選等状況

部門 区分		日本画	洋 画	写 真	彫 刻	美術工芸	書 道	デザイン	計
出 品 点 数		27	221	443	15	129	613	47	1,495
出 品 者 数		27	180	132	15	90	368	33	845
入 賞 ・ 入 選	特 別 賞	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(7)
	特 選	2	3	4	1	2	8	2	22
	準特選	3	6	9	2	4	14	3	41
	奨励賞	3	5	8	2	3	13	3	37
	入選数	9	116	105	4	68	287	21	610
	計	17	130	126	9	77	322	29	710
	入選率	63.0	58.8	28.4	60.0	59.7	52.5	61.7	47.5
選外	落選数	10	91	317	6	52	291	18	785
無 審 査 出 品	特別出品	2	2	1	2	2	2	2	13
	招 待	7	4	16	4	7	32	6	76
	無鑑査	0	1	2	0	1	3	0	7
	賛助出品	0	2	0	0	1	0	0	3
	遺作出品	0	0	0	1	0	0	0	1
計		9	9	19	7	11	37	8	100
展示数		26	139	145	16	88	359	37	810

※ 各部門の特選数は特別賞 1 点を含む

第 76 回徳島県美術展公募規定

区分	日本画	洋画	写真	彫刻
搬入日	9月25日(日)	9月24日(土)	10月2日(日)	9月25日(日)
搬入場所	あわぎんホール(県郷土文化会館)3階展示室			
審査日	9月25日(日)	9月25日(日)	10月2日(日)	9月25日(日)
審査員	小西 通博	川村 悦子	ハービー・山口	西野 康造
出品料	協会員1点目4,000円 その他の方5,000円 高校生2,500円 2点目からはすべて1,500円			
出品制限・大きさ・仕上げ	・未公開作品に限る ・写真部門は1人5点まで、その他の部門は点数に制限なし ・高校生以上とし、小・中学校在学者は出品できない 最小が額縁の幅を除いた画面の縦横の長さが70.0センチメートル×47.0センチメートル以上で、最大が額縁の幅を含めた縦横の長さが190.0センチメートル以内 堅牢なるパネル等を使用の上、額装とする パネル等の裏面には吊り紐をつけること、パネルや画面が額より出ないこと アクリル・ガラス等で画面を覆わないこと(ただし、水彩画、版画はアクリルに覆って認める) 額・吊り紐は必ず付け、保管・展示等に支障がない作品とすること 洋画 20号(72.7cm×50cm)～60号(130.3cm×97cm)までとする S型は30号(91cm×91cm)までを上限とし、版画は八つ切額(30.3cm×24.2cm)以上とする アクリル・ガラス等で画面を覆わないこと(ただし、水彩画、版画はアクリルに覆って認める) 額・吊り紐は必ず付け、保管・展示等に支障がない作品とすること 単写真、組写真とも半切(A3含む)から全倍(90cm×60cm) 画面の長辺は40cm以上90cm以内 スクエアサイズ(正方形)は一辺が30cm以上60cm以内 組写真は90cm×180cm以内に全作品を固定(不安定な作品の場合受け付けが来ないことがあります) 作品は必ずパネル貼りし、額装及びガラス、アクリル装着、金属、プラスチック、木材などによる枠取りは不可 デジタル写真の合成・加工の出品制限はしませんが、出品票などにその旨を必ず明記すること。入賞などの場合は元データなどの提出を求めることがあります(自然風景、ネイチャーなどは基本、合成・加工などは禁止します) 高さ2×幅1.82×奥行1.5m以内、重量200kg以内 (上記サイズを超える作品は屋外展示とする) 材料等は自由、展示可能な作品に限ります			
入賞	特選 2点 (特別賞 1点) 準特選 3点 奨励賞 3点以内	特選 3点 (特別賞 1点) 準特選 6点 奨励賞 5点以内	特選 4点 (特別賞 1点) 準特選 9点 奨励賞 8点以内	特選 1点 (特別賞 1点) 準特選 2点 奨励賞 2点以内

区分	美術工芸	書道	デザイン
搬入日	9月25日(日)	9月29日(木)	10月2日(日)
搬入場所	あわぎんホール(県郷土文化会館)3階展示室		
審査日	9月25日(日)	9月30日(金) 10月1日(土)	10月2日(日)
審査員	宮田 亮平	高木 聖雨・近藤 浩平・奈良 尚石	新村 剛人
出品料	協会員1点目4,000円 その他の方5,000円 高校生2,500円 2点目からはすべて1,500円		
出品制限・大きさ・仕上げ	・未公開作品に限る ・写真部門は1人5点まで、その他の部門は点数に制限なし ・高校生以上とし、小・中学校在学者は出品できない ・立体作品は、50cm立方換算以内(たて×よこ×おくゆきが125,000立方cm以内)とする 但し、たて100cm・よこ100cm・おくゆき100cm以内とする ・平面作品は、150cm平方換算以内(たて×よこが22,500平方cm以内)とする 但し、たて180cm・よこ150cm以内とする 木、竹、金工、陶磁、漆、染色、織物、人形、ガラス等とし、展示できる用具を必ずつけることとする 半切又は全紙1/2以上、仕上がり面積1.47㎡(16平方尺)以内で縦・横自由 巻子・帖は40cm×300cm以内 篆刻は印影とし、タテ39cm×ヨコ30cm以内の額装に限る(例) 61cm(2尺)×242cm(8尺) 枠装りに限る 79cm(2尺6寸)×181cm(6尺) 〃 91cm(3尺)×161cm(5尺3寸) 〃 121cm(4尺)×121cm(4尺) 〃 半切・全紙1/2・連落まで額装アクリル入りでもよい 無鑑査以上の出品者は半切・全紙1/2以内、横幅90cm以内とする 次の部門に属する作品とする ①漢字(臨書不可)・篆刻(模刻不可) ②仮名(臨書不可) ③近代詩文書 ④前衛(文字を表現したもの) それぞれ釈文をつけることとする B1サイズ(728×1,030mm)で厚さ5～75mm、外枠(幅20mm以内)を含めた重さが5kg以内とする イラストレーション・グラフィックデザインとし、原画の材質は問わないが、ガラス額装は不可 実在の商品名、会社名等は不可とし、著作権・肖像権に触れないこと 吊り紐をつけることとする		
入賞	特選 2点 (特別賞 1点) 準特選 4点 奨励賞 3点以内	特選 8点 (特別賞 1点) 準特選 14点 奨励賞 13点以内	特選 2点 (特別賞 1点) 準特選 3点 奨励賞 3点以内

徳島県美術展審査員一覧

回数	部門	日 本 画	洋 画	写 真	彫 刻 (46 回まで彫刻部)
1		委 員	野 間 仁 根 間 永 三 郎	委 員	
2		大 栗 旌 折	野 間 仁 根	上 田 備 山	太 田 三 郎 坂 東 文 夫
3		委 員	伊 原 宇三郎	同 上	太 田 三 郎 坂 東 文 夫
4		委 員	須 田 国太郎	同 上	同 上
5		上 村 松 篁	田 村 孝之介	小 野 由 行	太 田 三 郎 坂 東 文 夫
6		西 山 英 雄	伊 藤 継 郎	川 崎 亀太郎	同 上
7		山 口 華 楊	田 川 勤 次	棚 橋 紫 水	新 田 藤太郎
8		池 田 遙 村	須 田 勉 太	同 上	太 田 三 郎 坂 東 文 夫
9		水 田 竹 園	小 出 卓 二	同 上	同 上
10		菅 桶 彦	鈴 野 仁 根 木 間 信 太郎	同 上	同 上
11		奥 村 厚 一	井 上 長三郎	岩 宮 武 二	同 上
12		浜 田 観	福 沢 一 郎	棚 橋 紫 水	同 上
13		小 松 均	藤 井 令太郎	同 上	辻 東 三 郎 坂 東 文 夫
14		秋 野 不 矩	針 生 一 郎	岩 宮 武 二	針 生 一 郎
15		奥 村 厚 一	向 井 潤 吉	棚 橋 紫 水	菅 沼 五 郎
16		同 上	吉 原 治 良	岩 宮 武 二	柳 原 義 達
17		松 尾 冬 青	中 谷 泰	同 上	向 井 良 吉
18		矢 野 鉄 山	池 島 勘治郎	同 上	安 田 周三郎
19		中 村 貞 以	森 芳 雄	堀 内 初太郎	堀 内 正 和
20		曲 子 光 雄	桂 ユキ子	岩 宮 武 二	植 木 茂
21		沢 野 文 臣	伊 谷 賢 蔵	同 上	佐 藤 忠 良
22		堂 本 阿岐羅	村 井 正 誠	同 上	辻 晋 堂
23		松 岡 政 信	山 下 大五郎	同 上	井 上 武 吉
24		山 崎 忠 明	大 沢 昌 助	棚 橋 紫 水	菊 池 一 雄
25		奥 村 厚 一	齊 藤 真 成	同 上	原 武 典
26		梶 喜 一	島 村 三七雄	同 上	掛 井 五 郎
27		上 原 卓	高 田 誠	伊 藤 知 己	松 村 外次郎
28		黒 光 茂 樹	中 間 冊 夫	岩 宮 武 二	小 島 広 志
29		松 岡 政 信	島 田 章 三	同 上	保 田 春 彦
30		黒 光 茂 樹	田 中 孝 三	岩 宮 武 二	篠 崎 明 雄
31		河 合 健 二	田 中 忠 雄	同 上	江 口 週
32		長谷川 青 澄	山 口 長 男	岩 宮 武 二 高 田 誠 三	一 色 邦 彦
33		松 岡 政 信	吉 井 忠	岩 宮 武 二 高 田 誠 三	柳 原 義 達
34		山 岸 純	小 西 保 文	岩 宮 武 二	清 水 九兵衛
35		樋 笠 数 慶	萩 太 郎	同 上	桜 井 祐 一
36		坂 口 麻沙子	吉 井 淳 二	岩 宮 武 二	土 谷 武
37		下 田 義 寛	野見山 曉 治	同 上	山 本 正 道
38		同 上	須 田 寿	高 田 誠 三	清 水 九兵衛

美術工芸	書 道	デザイン (37回まで商業美術)
鬼塚 信之	委 員	
同 上	田 中 白 村	
同 上	炭 山 南 木	
同 上	炭 山 南 木 ・ 織 田 子 青	
同 上	手 島 右 御	
鬼塚 信之	同 上	
鬼塚 信之	小 坂 奇 石	
明 石 朴 景	辻 本 史 邑	
会 田 裕 宣	織 田 子 青 (漢) ・ 出 口 草 露 (飯)	
鴨 政 雄	松 井 恕 流	
近 藤 悠 三	荒 田 井 中 天 鶴 ・ 後 藤 泰 秀 ・ 後 藤 田 香 石 田 井 中 天 鶴 ・ 後 藤 泰 秀 ・ 後 藤 田 香 石	
平 松 宏 春	同 上	
同 上	荒 田 井 中 天 鶴 ・ 後 藤 泰 秀 ・ 後 藤 田 香 石 荒 田 井 中 天 鶴 ・ 後 藤 泰 秀 ・ 後 藤 田 香 石	
大 西 忠 夫	荒 田 井 中 天 鶴 ・ 後 藤 泰 秀 ・ 後 藤 田 香 石 荒 田 井 中 天 鶴 ・ 後 藤 泰 秀 ・ 後 藤 田 香 石	
明 石 朴 景	同 上	
平 松 宏 明	同 上	
大 西 忠 夫	同 上	
鴨 政 雄	同 上	
平 松 宏 春	同 上	
内 田 邦 夫	同 上	
山 脇 洋 二	同 上	
榎 尾 宗 一	同 上	
山 脇 洋 二	荒 田 井 中 天 鶴 ・ 後 藤 泰 秀 ・ 田 中 栢 翠 荒 田 井 中 天 鶴 ・ 後 藤 泰 秀 ・ 田 中 栢 翠	
藤 本 能 道	同 上	
三 井 安 蘇 夫	同 上	金 野 弘
六 角 颯 雄	同 上	大 智 浩
鈴 木 貫 爾	同 上	早 川 良 雄
田 村 耕 一	同 上	原 弘
山 脇 洋 二	荒 田 井 中 天 鶴 ・ 後 藤 泰 秀 ・ 田 中 双 鶴 荒 田 井 中 天 鶴 ・ 後 藤 泰 秀 ・ 田 中 双 鶴	田 中 一 光
浅 野 陽	同 上	奥 野 秀 雄
前 田 泰 次	同 上	灘 本 唯 人
山 脇 洋 二	同 上	大 高 猛
中 村 光 哉	荒 田 井 中 天 鶴 ・ 久 保 園 香 ・ 講 岐 泰 泉 ・ 田 中 双 鶴 荒 田 井 中 天 鶴 ・ 久 保 園 香 ・ 講 岐 泰 泉 ・ 田 中 双 鶴	福 田 繁 雄
山 脇 洋 二	同 上	永 井 一 正
田 村 耕 一	荒 田 井 中 天 鶴 ・ 田 中 双 鶴 ・ 田 中 栢 翠 荒 田 井 中 天 鶴 ・ 田 中 双 鶴 ・ 田 中 栢 翠	山 城 隆 一
田 村 耕 一	荒 田 井 中 天 鶴 ・ 田 中 双 鶴 ・ 田 中 栢 翠 荒 田 井 中 天 鶴 ・ 田 中 双 鶴 ・ 田 中 栢 翠	栗 津 潔
山 下 恒 雄	荒 田 井 中 天 鶴 ・ 田 中 双 鶴 ・ 田 中 栢 翠 荒 田 井 中 天 鶴 ・ 田 中 双 鶴 ・ 田 中 栢 翠	田 中 一 光

回数	部門	日 本 画	洋 画	写 真	彫 刻 (40 国連で彫刻)
39		下 田 義 寛	斉 藤 真 一	高 田 誠 三	城 田 孝一郎
40		下 保 昭	津 高 和 一	岩 富 武 三	清 水 良 治
41		橋 田 二 朗	小松崎 邦 雄	奈良原 一 高	淀 井 敏 夫
42		松 本 哲 男	国 領 經 郎	岩 宮 武 二	木 津 一 夫
43		山 岸 純	利根山 光 人	三 木 淳	橋 本 省
44		平 川 敏 夫	赤 穴 宏	高 田 誠 三	山 崎 猛
45		福 井 爽 人	桜 井 寛	三 木 淳	土 谷 武
46		岩 沢 重 夫	大 森 朔 衛	同 上	峯 田 敏 郎
47		穂 田 一 稗	谷 本 重 義	立 木 義 浩	小 島 弘
48		田 淵 俊 夫	大 沼 映 夫	杵 島 隆	建 畠 覚 造
49		中 路 融 人	馬 越 陽 子	同 上	綿 引 道 郎
50		下 田 義 寛	三 栖 右 嗣	奈良原 一 高	古 島 実
51		工 藤 甲 人	中 根 寛	斉 藤 康 一	恩 田 静 子
52		那波多目 功一	松 樹 路 人	細 江 英 公	石 井 厚 生
53		那 須 勝 哉	藤 田 吉 香	高 田 誠 三	香 浦 有 爾
54		内 田 あぐり	奥 谷 博	同 上	小 林 陸一郎
55		松 尾 敏 男	佐々木 豊	大 石 芳 野	日 原 公 大
56		山 崎 隆 夫	大 津 英 敏	同 上	石 黒 鏑 二
57		岩 本 和 夫	山 本 貞	細 江 英 公	原 武 典
58		大 矢 紀	福 島 瑞 穂	江 成 常 夫	菅 原 二 郎
59		竹 内 浩 一	中 山 忠 彦	大 石 芳 野	米 林 雄 一
60		小 嶋 悠 司	絹 谷 幸 二	江 成 常 夫	北 郷 悟
61		宮 廻 正 明	山 本 文 彦	同 上	鈴 木 久 雄
62		能 島 和 明	島 田 鮎 子	英 伸 三	中 垣 克 久
63		雲丹亀 利 彦	桜 井 寛	田 沼 武 能	林 武 史
64		西 田 俊 英	塗 師 祥一郎	同 上	津 田 裕 子
65		岡 村 倫 行	金 山 佳 子	三 好 和 義	建 畠 朔 弥
66		宮 いつき	大 津 英 敏	江 成 常 夫	深 井 隆
67		小 山 硬	笠 井 誠 一	大 石 芳 野	湯 村 光
68		土 屋 禮 一	佐 藤 泰 生	大 石 芳 野	保田井 智 之
69		上 村 淳 之	池 田 清 明	織 作 峰 子	村 井 進 吾
70		中 島 千 波	堀 研	江 成 常 夫	三 沢 厚 彦
71		中 野 嘉 之	久 野 和 洋	三 好 和 義	木 戸 修
72		村 岡 貴美男	森 本 勇	大 西 みつぐ	國 安 孝 昌
73		西久松 吉 雄	室 越 健 美	大 石 芳 野	井 田 勝 己
74		宮 北 千 織	湯 山 俊 久	立 木 義 浩	黒 川 弘 毅
75		國 司 華 子	平 岡 靖 弘	立 木 義 浩	常 松 大 純
76		小 西 通 博	川 村 悦 子	ハービー・山口	西 野 康 造

美術工芸	書 道	デザイン (37 回まで商業美術)
山下 恒 雄	荒 井 天 鶴・田 中 双 鶴・田 中 栢 翠	長 友 啓 典
浅 野 陽	荒井天鶴・久保幽香・讃岐泰泉・春藤大猷・高原清泉 田中双鶴・田中栢翠・長江清幽・新居藍州・西岡楚峰	亀 倉 雄 策
中 村 光 哉	明 石 春 浦・坪 井 正 庵	伊 藤 憲 治
浅 野 陽	桜 井 琴 風・黒 野 清 宇	サイトウ・マコト
山下 恒 雄	大 岡 皓 崖・山 田 伍 雲・西 野 象 山	佐 藤 晃 一
三 浦 小平二	花 田 峰 堂・小 山 素 洞・東 地 滄 厓	河 北 秀 也
松 永 勲	浅 見 綿 龍・森 本 妙 子・加 藤 大 碩	松 永 真
山下 恒 雄	近 藤 摂 南・東 山 一 郎・中 野 北 溟	浅 葉 克 己
島 田 文 雄	谷 村 憲 齋・植 村 和 堂・太 田 義 久	勝 井 三 雄
大 西 長 利	安 原 卓 雲・池 田 桂 鳳・金 子 卓 義	五十嵐 威 暢
山下 恒 雄	鈴 木 桐 華・西 本 支 星・金 子 聰 松	青 葉 益 輝
島 田 文 雄	尾 崎 邑 鵬・井 茂 圭 洞・大 井 錦 亭	松 永 真
中 井 貞 次	栗 原 蘆 水・榎 倉 香 邨・種 谷 扇 舟	安 西 水 丸
栗 木 達 介	甫 田 鶏 川・小 山 やす子・石 飛 博 光	U. G. サトー
宮 田 亮 平	杭 迫 柏 樹・藤 木 正 次・吉 田 成 堂	早 川 良 雄
松 永 勲	津 金 孝 邦・池 田 桂 鳳・松 永 暘 石	戸 田 正 寿
竹 内 順 一	田 中 節 山・村 上 俄 山・黒 田 玄 夏	杉 浦 康 平
栗 木 達 介	宮 崎 葵 充・赤 江 華 城・金 子 卓 義	秋 山 孝
中 井 貞 次	星 弘 道・宮 重 小 蘭・西 野 象 山	遠 藤 享
島 田 文 雄	吉 川 蕉 仙・清 水 透 石・作 田 英 嗣	中 村 誠
竹 内 順 一	岩 井 韻 亭・光 宗 道 子・大 井 錦 亭	小 島 良 平
宮 田 亮 平	伊 藤 天 游・井 茂 圭 洞・田 岡 正 堂	永 井 一 正
島 田 文 雄	稲 垣 菰 圃・横 山 煌 平・船 本 芳 雲	新 島 実
増 村 紀一郎	樽 本 樹 邨・東 山 一 郎・辻 元 大 雲	三 木 健
石 川 充 宏	真 神 巍 堂・前 島 泉 洲・長谷川 牧 風	松 井 桂 三
竹 内 順 一	鈴 木 春 朝・山 本 高 邨・砂 本 杏 花	河 北 秀 也
山下 了 是	大河内 仙 嶽・師 田 久 子・飯 高 和 子	勝 井 三 雄
大 樋 年 朗	土 井 汲 泉・舟 尾 圭 碩・百 瀬 大 蕪	佐 藤 晃 一
宮 田 亮 平	西 村 自 耕・岩 永 栖 邨・西 野 象 山	新 村 則 人
豊 福 誠	今 村 桂 山・横 山 煌 平・森 本 龍 石	福 島 治
若 山 裕 昭	渡 部 清・田 頭 一 舟・鈴 木 まつ子	秋 山 孝
山下 義 人	鬼 頭 墨 峻・吉 川 美 恵子・小 竹 石 雲	伊 藤 豊 嗣
中 井 貞 次	西 嶋 慎 一・山 根 互 清・渡 部 會 山	松 下 計
若 山 裕 昭	新 井 光 風・村 上 俄 山・室 井 玄 聳	杉 崎 真之助
島 田 文 雄	伊 藤 一 翔・岡 田 直 樹・井之上 南 岳	川 上 佳 代
大 樋 年 雄	吉 澤 鐵 之・高 木 厚 人・永 守 蒼 穹	居 山 浩 二
山下 義 人	真 神 巍 堂・舟 尾 圭 碩・鈴 木 不 倒	対 馬 肇
宮 田 亮 平	高 木 聖 雨・近 藤 浩 乎・奈 良 尚 石	新 村 則 人

徳島県美術展開催運営要項

第1条（名称・開催目的）

本展は徳島県美術展「以下（県展）という」と称し、広く県民から個性と創造性豊かな美術作品を公募し、審査員による公開審査により優秀な作品を選び、展示表彰することにより県内美術愛好家の制作意欲の活性化をはかり、一方県民に郷土の優れた美術鑑賞の機会を提供することにより本県の芸術文化の発展振興に寄与することを目的とする。

第2条（主催団体）

県展は徳島県美術家協会と徳島新聞社の共催により開催する。

第3条（開催運営の組織）

県展を開催運営するため、基本事項を審査決定する「県展運営委員会」と、主として準備計画を進める「県展事務局」で構成する。運営委員、事務局員の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

【県展運営委員会】

運営委員会のメンバーは、県美術家協会の会長、副会長2名及び各部会から2名、徳島県から1名、徳島新聞社から2名の合計20名でこれを構成する。運営委員の中から運営委員長1名、運営副委員長2名を選任する。運営委員長は運営委員会を統括し次の業務を行う。

1. 開催運営の基本事項について審議決定すること。
2. 審査員の推薦決定に関すること。
3. 審査方法、表彰に関すること。
4. 収支予算、決算の承認に関すること。
5. その他県展開催に必要なこと。

【県展事務局】

事務局を徳島市中徳島町2丁目5番地の徳島新聞社企画事業部内に置く。

事務局のメンバーは、県美術家協会事務局1名、徳島新聞社3名の計4名で構成する。事務局の中から事務局長1名を選任し、次の業務を行う。

1. 出品規定、応募要項、入場券、ポスター、チラシ、図録等の印刷、受付、配布、販売等に関すること。
2. 会場、会期、審査、搬入、搬出、運営全般の下準備に関すること。
3. 審査員候補の下交渉、配宿、航空券の手配、審査日時、場所、接遇等に関すること。
4. 収支予算案の作成に関すること。
5. 開会式、表彰式の準備に関すること。
6. 広報PRに関すること。
7. その他県展開催の下準備に関すること。

第4条（出品部門）

県展の出品部門は、日本画、洋画、写真、彫刻、美術工芸、書道、デザインの7部門とする。

第5条（展示作品）

県展において展示する作品は、前条に掲げる7部門の中から次の作品とする。

1. 一般公募作品の中から主催者が委嘱する審査員の審査を経て入選した作品及び招待、無鑑査、特別出品の作品を展示する。その他の作品については運営委員会の議を経て展示する。

2. 招待、無鑑査、特別出品については次の規定による。

◇次のものを招待とする。

- (1) 無鑑査出品を3回以上得たもの。

◇次のものを無鑑査とする。

- (1) 特選を連続3回得たもの。
- (2) 年間を問わず特選を4回得たもの。
- (3) 年間を問わず特選及び準特選を6回得たもの。（特選1回準特選5回、特選2回準特選4回、特選3回準特選3回、準特選6回の場合とする）
- (4) 無鑑査出品者にして、特選または準特選を得たもの。

（注）① 17回展までの奨励賞は準特選と同値とする。

- ② 75回展以降の奨励賞については2回の取得をもって準特選1回として扱う。
なお無鑑査を得る場合の上記(3)及び(4)の回数計算において余分な奨励賞が算出された場合は切り捨て（無効）とし、無鑑査を超えての算入はしない。

◇次のものを特別出品とする。

- (1) 県美術家協会の会長、副会長、顧問、審査員及び各部の会長。
- (2) 各部の会長を永年勤めて実績があり運営委員会の議を得たもの。

（注）招待及び無鑑査出品者が出品しない場合は、運営委員会で認められた事由がない限りその資格を失うものとする。

第6条（審査員）

審査員は県外審査員とする。審査員の選任は県美術家協会から一定数の人数を推薦し、この中から事務局で選任作業を行い、運営委員会の議を経て決定する。天災や審査員の特別な事情で審査が行えない場合は各部会の運営委員が運営委員長と協議の上、新たな審査員を決定する。

第7条（審査）

審査は公開により行う。

第8条（入選、入賞数）

1. 入選、入賞数は作品の出品数の増減により多少変動する場合があるが、原則として次の範囲内に止める。

区 分	特 選	特別賞（特選の中から1点）	準特選	奨励賞	入 選
日 本 画	2	徳 島 県 議 会 議 長 賞	3	3 以内	規定数
洋 画	3	徳島県教育委員会教育長賞	6	5 "	"
写 真	4	徳 島 市 長 賞	9	8 "	"
彫 刻	1	徳 島 新 聞 社 長 賞	2	2 "	"
美術工芸	2	四 国 放 送 社 長 賞	4	3 "	"
書 道	8	徳 島 県 美 術 家 協 会 長 賞	14	13 "	"
デザイン	2	徳 島 県 知 事 賞	3	3 "	"

※特別賞は各部門の中から最優秀作品1点に対し贈られるものです。

賞はいずれも同格で毎年部門により一つずつ変更し賞を贈ります。

2. 入賞は1部門1人1賞とする。

第9条（表 彰）

県展の入選、入賞者を次の通り表彰する。

1. 特 選……賞状、記念品
2. 準 特 選……賞状、記念品
3. 奨 励 賞……賞状
4. 入 選……賞状
5. ギャラリー賞……賞状

なお、特選に入賞した作品の中から特に優れた作品について次の特別賞を贈る。

1. 徳島県知事賞 1名
2. 徳島県議会議長賞 1名
3. 徳島県教育委員会教育長賞 1名
4. 徳島市長賞 1名
5. 徳島新聞社長賞 1名
6. 四国放送社長賞 1名
7. 徳島県美術家協会会長賞 1名

◎特別賞の選考方法については別に定めるものとする。

第10条（収支予算）

県展の開催、運営に要する経費は次のものをあてる。

1. 出品料
2. 入場料
3. 図録売り上げ代金及び広告料

4. 各種補助金

5. その他

県展の支出経費は事務局長の承認を経て行い、必ず証票をとり、毎年12月に決算を行い、運営委員会に報告し承認を得るものとする。

第11条（出品料・協賛費）

県展の出品料及び協賛費は次の通りとする。

1. 県美術家協会会員の出品料は、1点目4,000円、2点目から1点につき1,500円とする。
2. 一般の方の出品料は、1点目5,000円、2点目から1点につき1,500円とする。
3. 高校生の出品料は、1点目2,500円、2点目から1点につき1,500円とする。
4. 招待、無鑑査、特別出品者及びその他審査を受けない者の協賛費は1点4,000円とする。

第12条（入場料）

県展の入場料は次の通りとする。

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 1. 一般・大学生 | 前売り 600 円 | 当日 800 円 |
| 2. 高校生 | | 無料 |

第13条（附 則）

本要項の規定は昭和61年9月から実施する。

本要項の改訂、修正は運営委員の3分の2以上の議決を経てこれを行うものとする。

平成4年2月22日	一部改正
平成4年5月16日	一部改正
平成8年5月25日	一部改正
平成11年5月14日	一部改正
平成13年5月30日	一部改正
平成14年9月25日	一部改正
平成17年6月14日	一部改正
平成18年4月11日	一部改正
平成23年2月20日	一部改正
平成24年2月24日	一部改正
平成25年8月20日	一部改正
平成26年8月6日	一部改正
平成27年2月18日	一部改正
令和3年3月1日	一部改正
令和5年3月2日	一部改正

第18回徳島県こども美術展



↑ 〈徳島県知事賞〉助任小学校 5年 藤井晃太郎

〈徳島県知事賞〉半田小学校 5年 師水 咲和 →



一般展 特別賞

賞	絵 画		書 写	
徳島県知事賞	助任小学校	5年 藤井晃太郎	半田小学校	5年 師水 咲和
徳島県議会議長賞	見能林小学校	4年 八多 優希	半田中学校	1年 鎌倉 花凜
徳島県教育委員会教育長賞	土成小学校	1年 日浅 有惺	半田小学校	3年 岡 結子
徳島県市町村教育委員会連合会会長賞	城ノ内中等教育学校	2年 安藝 颯真	助任小学校	4年 木本 和希
徳島県美術家協会会長賞	城ノ内中等教育学校	3年 平良 美嘉	板野南小学校	6年 近藤優莉乃
徳島新聞社長賞	相生小学校	4年 龍 快斗	三好中学校	2年 福田 成美

特別企画展 特別賞

【絵 画】

鳥羽 梨絢(鳴門西小1) 堀江 花音(鳴教大付小2) 朝日 映栄(助任小3) 藤山 二朗(鳴教大付小4)
 佐藤 睦太(脇町小5) 竹田 奈央(生光学園小6) 桑平 千嘉(鳴門市第一中1) 平瀬 宗真(鳴門市第一中2)
 辻 美月(鳴門市第一中3)

【書 写】

影本 大和(池田小1) 鎌倉 歩生(半田小2) 岡 結子(半田小3) 上妻亜寿沙(助任小4)
 瀬尾 佑大(江原南小5) 渡部 柚春(国府小6) 小川 美優(岩倉中1) 岡本 章渡(土成中2)
 吉永ひなの(半田中3)

第18回徳島県こども美術展出品・入選等状況

会 期 10月20日(木)～10月24日(月)

会 場 あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)

入場者数 2,621人

出品・入選等状況

【絵画部門】

※特選に特別賞を含む

種 別		一 般 展 出 品								特 別 企 画 展 出 品						
学 年		作品数	特選	準特選	優秀賞	入選	計	入選率(%)	佳作	作品数	特別賞	優秀賞	入選	計	入選率(%)	佳作
小学生	1年	753	2	2	31	49	84	11.16	125	83	1	7	5	13	15.66	17
	2年	777	2	2	30	36	70	9.01	109	113	1	9	8	18	15.93	12
	3年	735	2	2	28	36	68	9.25	87	94	1	7	7	15	15.96	25
	4年	584	2	2	25	41	70	11.99	80	111	1	12	11	24	21.62	26
	5年	591	2	2	15	30	49	8.29	78	142	1	8	11	20	14.08	17
	6年	527	2	2	25	31	60	11.39	77	119	1	7	14	22	18.49	15
中学生	1年	140	2	2	13	10	27	19.29	28	57	1	8	8	17	29.82	15
	2年	161	2	2	18	27	49	30.43	39	48	1	7	5	13	27.08	13
	3年	105	2	2	18	21	43	40.95	20	22	1	6	7	14	63.64	0
計		4,373	18	18	203	281	520	11.89	643	789	9	71	76	156	19.77	140

【書写部門】

※特選に特別賞を含む

種 別		一 般 展 出 品								特 別 企 画 展 出 品						
学 年		作品数	特選	準特選	優秀賞	入選	計	入選率(%)	佳作	作品数	特別賞	優秀賞	入選	計	入選率(%)	佳作
小学生	1年	336	2	2	9	22	35	10.42	29	424	1	12	29	42	9.91	40
	2年	505	2	2	14	33	51	10.10	47	564	1	15	37	53	9.40	53
	3年	915	2	2	25	60	89	9.73	83	850	1	23	56	80	9.41	81
	4年	966	2	2	26	63	93	9.63	90	616	1	17	39	57	9.25	59
	5年	746	2	2	20	49	73	9.79	70	1173	1	32	77	110	9.38	112
	6年	643	2	2	17	42	63	9.80	58	910	1	25	60	86	9.45	79
中学生	1年	261	2	2	7	17	28	10.73	24	424	1	12	28	41	9.67	39
	2年	234	2	2	6	15	25	10.68	22	296	1	8	19	28	9.46	28
	3年	206	2	2	6	13	23	11.17	19	225	1	6	15	22	9.78	21
計		4,812	18	18	130	314	480	9.98	442	5,482	9	150	360	519	9.47	512

※VR展示徳島新聞社HP 10月23日(日)～1月22日(日)

第76回徳島県展選抜展

会期 令和4年10月28日(金)～11月3日(木・祝)

午前9時～午後5時(最終日は午後4時まで)

会場 吉野川市文化研修センター 多目的ホール

主催 NPO 法人吉野川市文化協会

協賛 徳島県美術家協会

協力 徳島新聞社



出品数

- ・日本画 11点
- ・彫刻 5点
- ・デザイン 4点

- ・洋画 27点
- ・美術工芸 18点
- 合計 151点

- ・写真 28点
- ・書道 58点

来場者数 900人

各部記録

2022 年（令和 4 年）1 月～12 月

日本画部

部会長 岡 英彦

年間展望

2022年は6月に開催を予定していた第60回新作日本画展が、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

◎第28回放美展（5月2日～5月5日 あわぎんホール）

応募点数は29点で、前回展より2点少なかったが、エネルギーにあふれた意欲的な作品が多かった。その中から入選14点、入賞3点、計17点を選んだ。放美賞の大西英徳さん「遊観」は、黒猫とフキの対比が素晴らしく、猫の繊細な描写とフキの緑が美しい。優秀賞の木原典子さん「はじめまして」は、犬に対する作者の愛情があふれ温かさが伝わってくる。四国大学賞の関原里桜さん「月夜の密談」は、現実とは程遠い情景で、不思議な世界観に引き込まれる。惜しくも選に漏れた作品の中にも作者の主張を感じさせるものが多かった。次回展では新しいうねりを感じさせる作品がさらに数多く出品されることを期待したい。

審査員（岡英彦・土方るみ子・柳田一子）



放美展会場

◎第76回徳島県美術展（10月5日～10月10日 あわぎんホール）

今回の審査は、創画会理事の小西通博先生にお願いした。応募点数は27点で、その中から特別賞（徳島県議会議長賞）1、特選1、準特選3、奨励賞3を含む入選17点を選んだ。

また、特選、準特選などの作品に関する審査評は次のようなものであった。

徳島県議会議長賞の宮越千佳「ひととき」は、日本画の絵の具の性質を最大限生かして、植物の調和が素晴らしい。特選の大久保慎宙「ベースノート」は、都市の雨の情景を抽象的に

まとめて、地面の青色もよく、作者の言いたいことが伝わって来る。

特別出品 2、招待 7、入選・入賞 17 の計 26 点を展示した。

また、吉野川市文化研修センターで開催された県展選抜展では、特別出品他計 11 点を展示した。



県展審査



県展会場



県展会場

会員消息 (月別)

2月	第50回徳島市芸術祭美術展 日本画講座作品展	シビックセンターギャラリー 土方喜美子(特別出品)・鈴木恵子(招待) カルチャーセンター徳島 土方喜美子(賛助出品)・土方るみ子(賛助出品)
3月	日本・中国水墨画合同展 第5回佐古絆文化協会作品展 第62回日本南画院展 東京展	東京都美術館 新居左よ子 佐古コミュニティホール 久保守近 東京国立新美術館 藤井瑞雲(宝塚市長賞)
4月	玄関ホール展 第6回新日春展	山川地域総合センター 藤井吉信 東京都美術館 梶浦千瑞・植田忠生
5月	日本画 植田忠生作品展 第58回溪生社水墨画展 第62回日本南画院展 京都展	よんでんエネルギープラザ阿南 あわぎんホール 京都市京セラ美術館 藤井瑞雲(宝塚市長賞)
6月	徳島平和美術展 水田貴子日本画展 第62回日本南画院展 大阪展	あわぎんホール 新居左よ子 ギャラリーカフェブリッサ 水田貴子 宝塚市立文化芸術センター 藤井瑞雲(宝塚市長賞)
8月	第5回日美展 第47回鴨島文化サロン展	東京国立新美術館 久保守近・新居左よ子 鴨島本郷ビル 藤井吉信
9月	日美展・水墨画部門選抜展	玉堂美術館 新居左よ子
10月	玄関ホール展 中川敬・清水佳代子日本画 35人展 第80回有秋会日本画展 新居左よ子と仲間の現代水墨画展	山川地域総合センター 藤井吉信 阿波銀プラザギャラリー 植田忠生 エル・おおさかギャラリー 藤井瑞雲 よんでんエネルギープラザ 新居左よ子
11月	第9回日展 佐古コミセン文化祭 第12回徳島女流美術展 光琳水墨画合同展 第31回空谷記念田野全国水墨画展	東京国立新美術館 土方るみ子 佐古コミュニティホール 久保守近 シビックセンターギャラリー 土方るみ子・柳田一子・石原千鶴・斎藤久代・宮越千佳 あわぎんホール 新居左よ子 田野町ふれあいセンター 久保守近・新居左よ子
12月	第25回溪生社小品展 第51回歳末チャリティー美術展	阿波銀プラザギャラリー 久保守近 アミコ東館6階催事場 岡英彦・土方るみ子・反田卓・久保守近

洋 画 部

部 会 長 平 木 美 鶴

年間展望

2022 年は放美展と県展が開催されました。また、個展やグループ展、全国公募展やコンクール展なども開催され県内の美術も活況を示してきました。まだ、油断はできないのですが感染症対策に気をつけ 2023 年も with コロナで活動できればと願います。

◎第 28 回放美展 会期：5 月 2 日～5 月 5 日 場所：あわぎんホール

144 点出品で 94 点の入選入賞、入選率 65%、出品者数では 123 人で 94 人の入選入賞、入選率 76% で例年よりは入選率が 13% ほど高くなっています。これはコロナ禍により 2 年間の中止があり、その影響で出品者が減少した事が原因のようです。審査員は榎田務、伊勢浩章、手塚てる子の 3 名で無観客審査でした。最初に複数作品を 1 点に絞り込んでから入選を決めました。その後に賞候補を 21 名決定してから放美賞、優秀賞、四国大学賞の 8 作品が決定されました。今回は放美賞と優秀賞 2 名が高校生でした。前回の展覧会より高校生の描写力の向上が目立っていましたので、これからの成長が楽しみです。賞候補の作品はあと一步で賞となる



審査風景

秀作ばかりでした。以下が賞候補となった方の氏名です。大坪潤一郎、藤本誠子、前野亮治、服部和代、小野玲奈、住友洋士、天野和子、横畠寛、大迫百々香、多田彩音、高谷優香、成瀬まなみ、由岐花音

◎第 35 回洋画部会員展 会期：7 月 7 日～7 月 10 日 場所：あわぎんホール A 展示室

今回の会員の出品者数は 70 名でした。出品者数は少し減りましたが作品の質は良かったと思いました。会期中にはギャラリートークを開催するのですが今回もコロナ対策として中止としました。入場者数は 428 名で昨年より大幅に増えています。また、洋画部会員展を長く支えてくれました事務局の清水博氏が高齢のため退きました。これまでのご苦勞に感謝致します。後任として遠藤誠一氏が就いています。

事務局：遠藤誠一、補佐 西川周三 会計：杉本祥子 監事：佐藤敬子

◎第 76 回県美術展 会期：10 月 5 日～10 月 10 日 場所：あわぎんホール

出品者数は 180 人、出品数 221 点で前回より出品者数は 22 人減少、出品数は 44 点減少しました。この事はここ数年のコロナの影響もあるかと思いますが、これから出品者が戻ってくる

事を願います。審査の結果 130 点の入選（入賞も含む）でした。出品数からの入選率は 58.8% で昨年より 6% 入選率が高くなっています。審査員は京都芸術大学名誉教授の川村悦子先生をお迎えしました。今回の審査もコロナ対策で非公開で行いましたが、丁寧な審査でした。厳選の上、選ばれた入選作から 25 点の賞候補を選び、そこから 14 点の受賞作が選ばれました。賞と候補の質の差はなく、どの作品が受賞してもおかしくないと思います。今回も受賞作品と賞候補を中心とした展示にも工夫をしました。以下に賞候補者の氏名（受賞者は除く）を記します。

嵯峨潤三、福井撰哉、加川由紀子、井添弘美、浅井清司、宮田京子、河村公子、蔵本百合子、泉亜結莉、武田洋子、麻植哲司



審査風景



川村悦子先生と洋画部委員

会員消息

- 青木 幸子 第 35 回洋画部会員展(あわぎんホール)、徳島アート 21 第 19 回展(阿波銀プラザ)
- 東 紀美子 徳島アート 21 第 19 回展(阿波銀プラザ)、第 61 回阿南市美術展・第 51 回阿南市文化祭美術展(阿南市文化会館)
- 井沢 忠昭 第 35 回洋画部会員展(あわぎんホール)
- 伊勢 浩章 第 35 回洋画部会員展・第 38 回徳島平和美術展(あわぎんホール)、徳島アート 21 第 19 回展(阿波銀プラザ)
- 伊勢谷昭博 第 50 回徳島市芸術祭美術展(シビックセンターギャラリー)、第 35 回洋画部

会員展・第50回絵で見る徳島展（あわぎんホール）、ふるさとを描き遺す会（徳島城博物館）、第43回渭北文化祭展（渭北コミュニティーセンター）、第51回チャリティー美術展（アミコシビックセンター）

- 乾 繁春 第96回国展（国立新美術館）、第80回記念世代美術展・第14回徳島絵画美学展（シビックセンター）、個展（眉峰ギャラリー）、鴨島絵画美学展・鳴門絵画美学展（キョーエイ鳴門駅前店4Fギャラリー）
- 伊良原貞子 第75回女流画家協会展（都美術館）、第80回世代美術展・第14回徳島絵画美学展（シビックセンター）、鴨島絵画美学展（吉野川文化研修センター）
- 岩井 千晴 第35回洋画部会員展（あわぎんホール）、徳島アート21第19回展（阿波銀プラザ）
- 宇高 桂子 第75回女流画家協会展（都美術館）
- 遠藤 誠一 第19回徳島版画＋高知版画協会交流展（阿波銀プラザ、いの町紙の博物館）、徳島版画グループ展阿波百景（鴨島町花杏豆）、徳島版画小品展（アートギャラリーグレイス）、第35回洋画部会員展（あわぎんホール）、遠藤誠一・ドモンコス紀子木版画展（阿波和紙会館2階展示室）
- 大津 恵文 第35回洋画部会員展（あわぎんホール）、第61回阿南市美術展・第51回阿南市文化祭美術展（阿南市文化会館）、徳島アート21第19回展（阿波銀プラザ）
- 大坪潤一郎 第5回土日会7月展（新宿ギャラリー絵夢）、第47回土日会展（国立新美術館）、第3回KENDOⅡ洋画グループ作品展（阿波銀プラザ）、2023 絵と木の二人展（花杏豆）
- 大西 文代 第39回青彩美術・第47回あわ洋画ぐるうぶ合同展（シビックセンター）、第35回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 大西利津子 第35回洋画部会員展（あわぎんホール）、春季徳島二紀展（阿波銀プラザ）、第36回徳島二紀展（徳島県立近代美術館ギャラリー）、第75回記念二紀展（国立新美術館）
- 大南 芳子 第3回KENDOⅡ洋画グループ作品展（阿波銀プラザ）、第35回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 小笠原秋子 第35回洋画部会員展（あわぎんホール）、三野町文化祭（三野町体育館）
- 岡田 君代 75周年記念示現会展（国立新美術館）、第77回青美展・75周年記念示現会全国巡回徳島展（あわぎんホール）
- 小倉満智子 第50回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）、個展・植物画7人展（花杏豆八万店）、有志一同作品展（ギャラリープラム）、第35回洋画部会員展（あわぎんホール）、近代日本美術協会大阪支部グループ展（ギャラリーミウラ）、第37回近代日本美術協会関西展（宝塚市立文化芸術センター・兵庫県知事賞）
- 越久 高照 第50回徳島市芸術祭美術展（シビックセンターギャラリー）、第35回洋画部会員展（あわぎんホール）、第6回うたづArt Award ビエンナーレ（Artsセンター・ユープラザうたづ）
- 加川由紀子 第75回女流画家協会展（東京都美術館）、第35回洋画部会員展（あわぎんホール）、第19回展徳島アート21（阿波銀プラザギャラリー）
- 河野 博匡 第3回KENDOⅡ洋画グループ作品展（阿波銀プラザ）、第35回洋画部会員展（あわぎんホール）

- 川人 健司 第50回徳島市芸術祭美術展（シビックセンターギャラリー）、第35回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 河本多恵子 徳島アート21第19回展（阿波銀プラザ）、国府文化祭（国府コミュニティセンター）
- 北村 照子 第50回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）、第35回洋画部会員展（あわぎんホール）、徳島市八万文化祭洋画部（八万コミュニティセンター）
- 久保 和子 第80回記念世代美術展・第14回徳島絵画美学展（シビックセンター）、第77回青美展（あわぎんホール）
- 後藤ユリ子 chaos ～魅惑の抽象画～（港区新橋 Bian・美庵ギャラリー）
- 小浜 敏也 阿南市文化祭美術展・阿南市文化祭（夢ホール）、徳島アート21第19回展（あわぎんプラザ）、漁師の祈り展（グレイス）
- 近藤 克子 第9回日展（国立新美術館）、第88回東光展（都美術館）、徳島絵画美学展・徳島女流美術展（シビックセンター）、第35回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 西條 敏夫 第33回現代パステル協会展（都美術館・京都京セラ美術館）、第43回鴨島グループ展（吉野川市文化研修センター）、個展（喫茶花杏豆）
- 嵯峨 潤三 徳島アート21第19回展（あわぎんプラザ）、第19回徳島版画＋高知版画協会交流展（阿波銀プラザ、いの町紙の博物館）、徳島版画グループ展阿波百景（鴨島町花杏豆）、木版抽象画展（ギャラリー喫茶グレイス）、徳島版画小品展（アートギャラリーグレイス）、花と抽象嵯峨潤三油彩画展（ギャラリーバンサン）
- 佐藤 敬子 第35回洋画部会員展・第77回青美展（あわぎんホール）、第80回記念世代美術展・第14回徳島絵画美学展（シビックセンター）
- 篠原佳代子 第35回洋画部会員展（あわぎんホール）、第46回昭和美術会展（京都市京セラ美術館）、第2回ナイーブ3人展（ギャラリーカフェブリッサ）、第14回徳島絵画美学展・第12回徳島女流美術展（アミコシビックセンター）、第50回昭和美術会ミニチュア展（京都ギャラリーきむら）、第51回記念歳末チャリティー美術展（アミコ東6F）
- 四宮 久子 第35回洋画部会員展（あわぎんホール）、春季徳島二紀展（阿波銀プラザ）、第36回徳島二紀展（徳島県立近代美術館ギャラリー）、第75回記念二紀展（国立新美術館）
- 志摩 政照 第17回二市絵画交流展・第44回鴨島美術グループ展・第18回総合美術展（吉野川市文化研修センター）
- 島上 二郎 第9回日展（国立新美術館）、東光会徳島支部展（あわぎんホール）、第88回東光展（都美術館）
- 清水 政吉 第81回記念水彩連盟展（国立新美術館）、第52回石井美術の会作品展・第35回洋画部会員展（あわぎんホール）、個展（田岡病院ギャラリー）
- 下時治郎秀臣 第98回白日会展（国立新美術館、愛知、関西巡回展）、白叡会展（阿倍野近鉄画廊）、第9回日展（国立新美術館）、現代洋画秀作展・第35回洋画部会員展（あわぎんホール）、鴨島美術グループ展（吉野川市文化研修センター）
- 杉本 祥子 第75回女流画家協会展（都美術館）、洋画二人展・徳島版画グループ展阿波百景（花杏豆鴨島）、第35回洋画部会員展（あわぎんホール）、令和阿波アートフェアー（御所山王子現代アートスペース）、徳島アート21第19回展・（阿波銀プラザ）、

第19回徳島版画+高知版画協会交流展(阿波銀プラザ、いの町紙の博物館)、
徳島版画小品展(アートギャラリーグレイス)

- 鈴木 敬子 第35回洋画部会員展(あわぎんホール)、第44回鴨島美術グループ展(吉野川市文化研修センター)、第50回徳島市芸術祭美術展(シビックセンター)、徳島アート21第19回展(阿波銀プラザ)
- 武田 洋子 第35回洋画部会員展(あわぎんホール)、第14回徳島絵画美学展(シビックセンター)、春風展(三好教育センター)
- 竹原 良亮 第50回徳島市芸術祭美術展(シビックセンター)、第35回洋画部会員展(あわぎんホール)
- 田中 敏雄 第50回徳島市芸術祭美術展(シビックセンター)、第35回洋画部会員展(あわぎんホール)、第83回一水会(都美術館)、第60回一水会精鋭展(松坂屋上野店、アーツスペース)
- 谷 慎也 第53回土曜会(シビックセンターギャラリー)、第33回現代パステル協会展(都美術館)、第77回青美展(あわぎんホール)、三人展(ギャラリーカフェブリッサ)
- 谷口 克子 第75回示現会展(国立新美術館)、第75回示現会全国巡回徳島展(あわぎんホール)
- 玉田 秀子 第50回徳島市芸術祭美術展(シビックセンター)、徳島アート21第19回展(阿波銀プラザ)
- 田村 秀子 第81回記念水彩連盟展(国立新美術館)、第35回洋画部会員展(あわぎんホール)、第14回徳島絵画美学展(シビックセンター)
- 露口 敏幸 個展(アートギャラリーグレイス)
- 手塚てる子 第100回朱葉展(都美術館)、第100回朱葉会秋季選抜展(銀座アートホール)、第96回四国展(国立新美術館)、第35回洋画部会員展(あわぎんホール)、令和阿波アートフェア(御所山王子現代アーツスペース)、夢のホライズン洋画5人展・徳島版画小品展(アートギャラリーグレイス)、個展(ギャラリーカフェブリッサ)、第19回徳島版画+高知版画協会交流展(阿波銀プラザ、いの町紙の博物館)、徳島版画グループ展阿波百景(鴨島町花杏豆)
- 長尾 弘久 長尾弘文1999~2022展・徳島版画小品展(アートギャラリーグレイス)、個展(ギャラリーカフェブリッサ)、第19回徳島版画+高知版画協会交流展(阿波銀プラザ、いの町紙の博物館)、徳島版画グループ展阿波百景(鴨島町花杏豆)
- 中辻奈美枝 徳島アート21第19回展(阿波銀プラザ)、第61回阿南市美術展・第51回阿南市文化祭美術展(阿南市文化会館)
- 中村 俊夫 第75回示現会展(国立新美術館)、第53回示現会徳島支部展・第3回KENDO II洋画グループ作品展(阿波銀プラザ)、第75回示現会全国巡回徳島展・第35回洋画部会員展(あわぎんホール)
- 西川 敬子 第35回洋画部会員展(あわぎんホール)、徳島アート21第19回展(阿波銀プラザ)、西川周三・敬子回顧展(アートギャラリーグレイス)、第12回徳島女流美術展(アミコシビックセンター)、第78回関西水彩画会(大阪市立美術館)
- 西川 周三 第35回洋画部会員展(あわぎんホール)、徳島アート21第19回展(阿波銀プラザ)、西川周三・敬子回顧展(アートギャラリーグレイス)
- 二條 均 第35回洋画部会員展(あわぎんホール)、徳島アート21第19回展(阿波銀プラザ)

- 野口 暁子 第35回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 林 信夫 第35回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 林 康太郎 第35回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 原 たず 第47回あわ洋画ぐるーぷ・第39回青彩美術合同展（シビックセンターギャラリー）
- 坂東 悦子 第35回洋画部会員展（あわぎんホール）、阿波美術の森作品展・阿波市文化祭（アエルワホール）、吉野川市阿波市二市交流展（吉野川市文化研修センター）、第46回旺玄会徳島支部展（阿波銀プラザ）
- 坂東 弘子 それぞれの物語展企画出品（ギャラリーヒラオカ）
- 日野 邦恵 第9回日展（国立新美術館）、第43回東光会徳島支部展（あわぎんホール）、第88回東光展（都美術館）、徳島アート21第19回展（阿波銀プラザ）、洋画4人展（ギャラリーカフェブリッサ）、第44回鴨島美術グループ展（吉野川市文化研修センター）、土成アートグループ展（イオン徳島・阿波銀行市場支店）、個展（M&M ギャラリー）
- 平木 美鶴 第35回洋画部会員展（あわぎんホール）、第50回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）、春季徳島二紀展（阿波銀プラザ）、第36回徳島二紀展（徳島県立近代美術館ギャラリー）、第75回記念二紀展（国立新美術館）、令和阿波アートフェア（御所山王子現代アートスペース）、徳島版画小品展（アートギャラリーグレイス）、二人展（ギャラリーM&M）、第19回徳島版画＋高知版画協会交流展（阿波銀プラザ、いの町紙の博物館）、徳島版画グループ展阿波百景（鴨島町花杏豆）、第65回CWAJ現代版画展（代官山ヒルサイドフォーラム）、第89回日本版画協会展（都美術館）
- 平野 幸子 第3回KENDO II洋画グループ作品展（阿波銀プラザ）、第35回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 平松 智子 第44回鴨島美術グループ展（吉野川市文化研修センター）、第77回青美展（あわぎんホール）
- 福本 恵 第50回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）、第35回洋画部会員展（あわぎんホール）、春季徳島二紀展（阿波銀プラザ）、第36回徳島二紀展（徳島県立近代美術館ギャラリー）、第75回記念二紀展（国立新美術館）
- 福良 哲子 第35回洋画部会員展（あわぎんホール）・加茂谷文化祭（加茂谷公民館）
- 藤井 香世 第35回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 藤丸 家栄 徳島アート21第19回展（阿波銀プラザ）
- 藤本 千秋 吉野川市選抜展（吉野川市文化研修センター）、二人展（花杏豆鴨島）
- 前川 富子 第81回記念水彩連盟展（国立新美術館）、第52回石井美術の会作品展・第35回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 前川フキ子 徳島アート21第19回展（阿波銀プラザ）
- 前野 亮治 第46回旺玄会徳島支部展（阿波銀プラザ）
- 榎田 務 退職校長会生きがい展・第78回東光会徳島支部展・第35回洋画部会員展（あわぎんホール）、第49回徳島市芸術祭美術展・チャリティ色紙展（シビックセンター）
- 真鍋 弘子 徳島アート21第19回展（阿波銀プラザ）
- 眞野 尚枝 第83回一水会（東京都美術館）、第35回洋画部会員展（あわぎんホール）、

- 京都芸術大学（通信教育）卒業修了制作展（京都芸術大学瓜生山キャンパス）
- 馬淵 尚子 第35回洋画部会員展（あわぎんホール）、第17回二市絵画交流展・第44回鴨島美術グループ展・第18回総合美術展（吉野川市文化研修センター）
 - 峯 幸子 第35回洋画部会員展（あわぎんホール）、第85回新制作展（国立新美術館・京セラ美術館）、個展（アートギャラリーグレイス）、第50回む・アート展（阿波銀プラザ）
 - 蓑手日登美 第106回二科展（国立新美術館）、第12回徳島女流美術展（シビックセンター）、鴨島文化サロン（本郷ギャラリー）、第80回記念世代美術展（シビックセンター）
 - 宮田 京子 第51回記念歳末チャリティー美術展（アミコ東6F）
 - 三好 初子 第50回徳島市芸術祭美術展・第12回徳島女流美術展（シビックセンター）、第42回東光会徳島支部展・第34回洋画部会員展（あわぎんホール）、第88回東光展（都美術館）
 - 山口美千代 第35回洋画部会員展・第77回青美展（あわぎんホール）
 - 結城 栄子 第50回む・アート展（阿波銀プラザギャラリー）
 - 吉岡 毅 第14回徳島絵画美学展（シビックセンター）

写真部

部会長 上野 照文

年間展望

コロナ禍の中、会員の創作活動は全体的に低調でした。グループ展、個展など昨年度に比べ少しずつ増えてきています。放美展、県展とまだ、審査が非公開の影響で出品者も出品数も前年度より少なくなっています。美協会員もその影響で以前に比べ激減しました。来年度以降は写真部の行事も新しく企画も進めています。活気ある写真部になるように進めてゆく所存です。

◎第28回放美展（5月2日（月）～5（木）あわぎんホール）

審査員林敏彦、増田寿、大和健司の3人で4月29日に非公開で行われた。出品人数73名。出品点数188点。この中から放美賞1点、優秀賞8点、四国大学賞1点、入選118点が出た。

◎第76回県美術展（10月6日（水）～11（月）あわぎんホール）

前回に続いて立木義浩先生を迎えて10月3日に行った。出品人数130名。応募点数461点。この中から特選4点、準特選9名、奨励賞8点、入選107点が出た。

◎写真部撮影会

今年度中止

会員の訃報

福井邦博（82才）さんが8月逝去されました。

会員消息

◎第56回日本光画会写真展（1月20日（木）～23日（日）徳島市シビックセンター）

出品者：林 好一

◎第37回全日本写真連盟県本部写真展（1月28日（金）～30日（日）徳島市シビックセンター）

出品者：秋田召旨・秋山修一・阿部啓三・井藤光章・井上憲治・大島茂信・大津勝治

岸田義市・佐治 孝・佐藤美智子・高島武夫・二階博司・野藤敏美・野藤みきよ

橋本圭祐・橋本 勝・林 敏彦・板東泰雄・姫野博司・廣野美知子・福井邦博

福井純子・福田 勉・森 賢一・森内昭男・吉村敏嗣

◎徳島県立近代美術館ギャラリー

◎第16回日本風景写真協会徳島支部展（4月1日（金）～3日（日）徳島市シビックセンター）

出品者：岩崎英昭・板東よしお・吉田隆之

- ◎第38回サンカ会写真展(4月16日(土)～18日(月) 徳島市シビックセンター)
出品者:田中伸廣・橋本圭祐・森内昭男
- ◎第61回阿南市美術展(5月1日(日)～3日(火) 阿南市文化会館)
出品者:姫野博司・二階博司・木田英之・福井邦博・福井純子・林 好一・松浦 孝
森住 博
- ◎岸田義一写真展「ガラスの輝き」(5月9日(月)～15日(日) 吉野川市文化研修センター)
- ◎第44回写真同人「炎」写真展(5月27日(金)～29日(月) 徳島市シビックセンター)
出品者:秋山修一・阿部啓三・井藤光章・井上憲治・大津勝治・佐治 孝・土橋成行
野口佳一・林 敏彦・廣野美知子・堀口幸男・森 賢一
- ◎第38回徳島平和美術展(6月2日(木)～5日(日) 徳島市あわぎんホール)
出品者:姫野博司・木田英之・林 好一・松浦 孝・武知 雅・賀川泰廣・岸田義一
喜屋武美沙子
- ◎第47回視点(6月7日(火)～13日(月) 東京都美術館)
出品者:木田英之
- ◎鳴門市文化展(6月9日(木)～12日(日) 鳴門市立図書館)
出品者:木田英之・武知 雅・賀川泰廣・今出 弘
- ◎第28回徳島ライカクラブ写真展(6月17日(金)～19日(日) 徳島市シビックセンター)
出品者:山田勝二・井上秀人
- ◎阿波踊り「紡ぐ」作品コンクール(6月17日(金)～30日(木) 徳島市阿波踊り会館)
入賞者:岸田義一
- ◎剣山・私の一枚写真展(7月6日(水)～17日(日) 板野町ギャラリーカフェ・ブリッサ)
出品者:岩崎英昭・木田英之・久保英樹・吉田隆之
- ◎吉野川市芸術祭第18回総合美術展(7月9日(土)～10日(日) 吉野川市文化研修センター)
出品者:岸田義市・喜屋武美沙子・木田英之
- ◎62回写楽会写真展(8月19日(金)～21日(日) 県立近代美術館ギャラリー)
出品者:上野照文・川真田慶治・岸田義市・櫛渕紳哉・西岡まゆみ・板東泰雄・堀口幸男
- ◎70回二科展写真部展(9月7日(水)～19日(月) 東京都新国立博物館)
入賞者:近藤博之・山下修司
- ◎Gruppo Foto 23 写真展(9月9日(金)～11日(日) 県立近代美術館ギャラリー)
出品者:上野照文・井上康子・岸田義一・喜屋武美佐子・熊谷美智子・高橋一恵
田中伸廣・谷ひづる・西岡まゆみ・山上 堯・吉田隆之
- ◎16回写真同人「光」写真展(9月17(金)～9月19日(日) 徳島市シビックセンター)
出品者:遠藤博敏・大島茂信・小原英二・二階博司・林 和彦・林 敏彦・林 好一
姫野博司・福井邦彦・福井純子・福田 勉・松浦 孝・水口義行
- ◎第15回写好館クラブ写真展(9月17日(土)～19日(月) 吉野川市文化研修センター)
出品者:岸田義市・木田英之
- ◎第11回二科会写真部徳島支部展(10月28日(金)～31日(月) 徳島市シビックセンター)
出品者:秋山修一・幾多茂人・梅本貞則・近藤博之・佐野和史・谷 嘉明・土橋成行
平野史子・姫野博司・増田 寿・南 敦子・宮前 稔・森内昭男・森住 博

山下修司

◎第29回朝日四国写真展(11月19日(土) 松山市総合コミュニティセンターにて審査)

入賞者:岡本早苗・大津勝治・野藤敏美・阿部啓三・井上憲治・野藤みきよ・林 敏彦
福田 勉・姫野博司・森 賢一・岸田義市・秋山修一・大島茂信・廣野美知子
井藤光章

◎第53回ナルトピンボケクラブ写真展(11月25日(金)～27日(日) キョーエイ鳴門前店)

出品者:賀川泰廣・木田英之・武知 雅

◎キヤノンフォトクラブ徳島第21回写真展(12月7日(水)～12月11日(日) 徳島市阿波銀プラザ)

出品者:稲井健司・橋本 勝・板東泰雄

◎第7回写真クラブ八丁目写真展(12月9日(金)～11日(日) 徳島市シビックセンター)

出品者:南 敦子・森内昭男・山下修司

◎第70回ニッコールフォトコンテスト展(12月13日(火)～1月16日(月) ニコンプラザ東京)

入賞者:岡本早苗・喜屋武美佐子

◎藍屋敷 武地家の記憶 柳沢魏・上野照文写真展(12月1日(木)～2月16日(木) 石井町中央公民館)

※会員消息は会員の展覧会情報などを載せていますが、情報などが把握出来ないこともあります。開催案内などを写真部会長まで、お知らせいただければ幸いです。



写真部展示会場



ハービー山口先生県展審査風景



特別賞 谷ひづるさん 県展表彰式

彫 刻 部

部会長 井 下 俊 作

年間展望

コロナ禍の影響のため、昨年度延期をしていた部会展を6月に開催しました。これまで新型コロナウイルス感染防止のため中止や延期になっていた展覧会が今年度は少しずつ開催されているのは、嬉しい限りです。

◎第28回放美展 会期：5月2日～5日 場所：あわぎんホール

3年ぶりの放美展の彫刻部門には、出品が16点ありました。そのうち、放美賞、優秀賞、四国大学賞が各1点、入選が8点でした。全体に多様な素材や表現の作品が出品され、作者の熱意が十分に伝わってくるような展示になりました。

放美賞に選ばれた大貝真雄さんの「キボウ」はセラミックの作品で、造形的に美しく、立体的に上手くまとめられ、技術の高い作品でした。優秀賞の横畠寛さんの「水辺の舞」は、木の素材を生かした大作で、迫力と存在感のある作品でした。また、四国大学賞の長尾和奏さんの「阿吽結合」は、高校生らしい若い力溢れる作品でした。全体の評として、「彫刻は作者の負荷が多い分野であるが、今後も力作を期待したい」とのことでした。

◎第76回県美術展 会期：10月5日～10日 場所：あわぎんホール

今回の県美術展彫刻部門の審査員には彫刻家の西野康造氏にお願いしました。出品数は15点で、そのうち9点が入賞・入選しました。

特選で徳島新聞社長賞には、大貝寿子さんのセラミックの大作「つなぐ」が選ばれました。審査評として「伸びやかでエネルギーを強く感じた。ダイナミックで思い切りの良さが際立っている。作者の情熱が伝わり、尊い命を次世代に繋いでいくことの大切さを表現しているのがよく分かる。」と評価されました。大貝さんはこのところ積極的に大作にチャレンジしています。昨年の準特選に続いての受賞は、着実に実力をつけている証だと思われます。

準特選は2点選ばれました。1つは、東光司さんの「刻まれた風景・2022」です。講評として「抜きん出た技術が光る石彫作品、3つの石材を丹念に加工してバランス良く組み合わせている。」と述べられました。東さんは、長年県展に出品されて、最近特に石材の特徴を上手く利用した表現が結果に結びついています。これからの展開に期待したいと思います。もう1つは、吉田陽子さんの「慈しみ」です。評では、「心安らかで温かい雰囲気を出し、子供を抱き上げる親の愛情がうまく表現されている。」と述べられました。吉田さんは、セラミックの素材で独自のフォルムを作りながら次第と完成度を上げている作家です。次に期待します。

また、高校生の作品に対しては、「レベルは高いが、全体に石膏を利用した作品が多い、違った素材にも挑戦してほしい。」と言われました。



放美展 彫刻部展示風景



彫刻部会展 会場風景



県美術展 彫刻部審査風景

◎彫刻部会展 会期：6月8日～12日 場所：阿波銀プラザ

彫刻部会展は、4～5年に一度の間隔で美術家協会彫刻部会に属するメンバーを中心に集めて開いております。昨年度開催の予定でしたが、コロナ禍のため、1年延期で開催することができました。今回は、18名の彫刻家が多様な素材で21点を発表しました。展覧会が6年ぶりということもあって、リニューアルされた美しい会場には多くの彫刻ファンに来ていただきました。また、出品作家はお互いの制作談義などの交流もあり、今後の制作意欲の刺激にもなり有意義な展覧会でした。

最後に、長年に亘って美術家協会彫刻部会のお世話をいただきご貢献されました、鎌田邦宏氏が7月23日に80歳で逝去されました。ご遺徳を偲び、心よりご冥福をお祈りいたします。

会員消息 (県展・放美展関係は除く。順不同)

居上 真人	3月	徳島彫刻集団室内展 2022	あわぎんホール
	4月	「フクキタレ・アレ」設置	徳島市個人宅
	6月	2022 宮崎現代彫刻・空港展	宮崎ブーゲンビリア空港
	6月	徳島県美術家協会彫刻部会展	阿波銀プラザ
	10月	徳島彫刻集団 60 周年記念野外彫刻展	徳島中央公園
	10月	徳島彫刻集団 60 周年記念野外彫刻展特別企画室内展	徳島城博物館
	10月	「真っすぐに」設置	鳴門市建設会社
井下 俊作	6月	徳島県美術家協会彫刻部会展	阿波銀プラザ
	10月	徳島彫刻集団 60 周年記念野外彫刻展	徳島中央公園
大貝 貞雄	1月～12月	陶と造形 大貝貞雄・大貝寿子夫婦展	日和佐勝瀬モーターズギャラリー
	3月	徳島彫刻集団室内展 2022	あわぎんホール
	6月	徳島県美術家協会彫刻部会展	阿波銀プラザ
	10月	徳島彫刻集団 60 周年記念野外彫刻展	徳島中央公園
	10月	徳島彫刻集団 60 周年記念野外彫刻展特別企画室内展	徳島城博物館
大貝 寿子	1月～12月	陶と造形 大貝貞雄・大貝寿子夫婦展	日和佐勝瀬モーターズギャラリー
	3月	徳島彫刻集団室内展 2022	あわぎんホール
	6月	徳島県美術家協会彫刻部会展	阿波銀プラザ
	10月	徳島彫刻集団 60 周年記念野外彫刻展	徳島中央公園
	10月	徳島彫刻集団 60 周年記念野外彫刻展特別企画室内展	徳島城博物館
河崎 良行	5月	現代造形作家フォーラム展(共同代表)出品	東京都美術館
	12月	第9回花とみどり・いのちと心展(共同代表)出品 国営昭和記念公園	花みどり文化センター
木村 大志	3月	第15回記念春季二紀展	東京都美術館
	6月	徳島県美術家協会彫刻部会展	阿波銀プラザ
	8月	第36回徳島二紀展	徳島県立近代美術館ギャラリー

上月 佳代	2月	第50回徳島市芸術祭美術展	シビックセンター
	3月	第15回記念春季二紀展	東京都美術館
	6月	徳島県美術家協会彫刻部会展	阿波銀プラザ
	6月	第8回ゲタ箱展	大田原市芸術文化研究所
	7月	第10回われらの地平線	日本橋三越本店本館6階美術画廊
	8月	第36回徳島二紀展	徳島県立近代美術館ギャラリー
	10月	第75回記念二紀展	国立新美術館
	11月	みつ11人展	moi moi gallery
武田 亜希子	2月	第50回徳島市芸術祭美術展特別出品	シビックセンター
	3月	第15回記念春季二紀展	東京都美術館
	6月	徳島県美術家協会彫刻部会展	阿波銀プラザ
	6月	第8回ゲタ箱展	大田原市芸術文化研究所
	8月	第36回徳島二紀展	徳島県立近代美術館ギャラリー
	10月	第75回二紀展	国立新美術館
	10月～11月	峡谷の郷おったち現代美術展	出雲市旧乙立小学校
	11月～12月	2022 石見銀山小品彫刻展	島根県大田市 群言堂本店ギャラリー
	12月	YEAR-END EXHIBITION OF MINI SCULPTURES	ギャラリーせいほう
東 光司	12月	第51回記念歳末チャリティー美術展出品	アミコ東館
	1月	第53回モダンアート徳島支部展	阿波銀プラザ
	4月	第72回モダンアート展	東京都美術館
	9月	3人展 東光司・松島礼子・松島早紀	道の駅 温泉の里神山
	9月	木彫フォークアートおおよ 入選	兵庫県養父市おおよホール
松永 勉	2月	第50回徳島市芸術祭美術展 審査員出品	シビックセンター
	2月	佐那河内村に彫像設置	佐那河内村役場
	3月	徳島彫刻集団室内展 2022	あわぎんホール
	6月	徳島県美術家協会彫刻部会展	阿波銀プラザ
	9月～10月	第77回行動展	国立新美術館
	10月	徳島彫刻集団 60周年記念野外彫刻展	徳島中央公園
	10月	徳島彫刻集団 60周年記念野外彫刻展特別企画室内展	徳島城博物館
	10月	第77回行動展関西巡回展	宝塚市立文化芸術センター
	10月～11月	峡谷の郷おったち現代美術展	出雲市旧乙立小学校
	11月～12月	2022 石見銀山小品彫刻展	島根県大田市 群言堂本店ギャラリー
	12月	YEAR-END EXHIBITION OF MINI SCULPTURES	ギャラリーせいほう

吉田 陽子	2月	第50回徳島市芸術祭美術展 無鑑査出品	シビックセンター
	3月	徳島彫刻集団室内展 2022	あわぎんホール
	6月	徳島県美術家協会彫刻部会展	阿波銀プラザ
	10月	徳島彫刻集団 60周年記念野外彫刻展	徳島中央公園
	10月	徳島彫刻集団 60周年記念野外彫刻展特別企画室内展	徳島城博物館

美術工芸部

部会長 松下 慶一

年間展望

◎第28回放美展 令和4年5月2日(月)～5月5日(木) あわぎんホール

4月29日(金) 非公開で審査が行われた。

出品数は前回より17点少ない81点であった。

ジャンル別では陶磁33点、パッチワーク13点、押し花11点の順に多かった。

その中から57点を入選とし、放美賞1点、優秀賞3点、四国大学賞1点が選出された。審査員出品3点、無鑑査出品5点も展示された。

出品数の減少が気になるが高校生の作品も多くみられ、ますますの奮起を期待しています。作品は力作が多かった。

審査員は松下慶一(陶磁)、橘恵(染)、斎藤和彦(金工)がつとめた。



第28回放美展 非公開審査の様子



第76回県展 審査中の宮田亮平先生



第76回県展 立体作品の最終審査



第76回県展 平面作品の最終審査

◎第76回県美術展 第2期 令和4年10月12日(水)～17日(月) あわぎんホール

第76回県美術展の美術工芸部門の応募作品点数は129点(前回129点)と、同数であった。

ジャンル別では、陶磁56点、パッチワーク25点、染・織13点、押し花8点、木8点、ガラス7点の順に多かった。

作品は今回も意欲作が多かった。

今回の審査員は宮田亮平先生（元東京芸大学長・元文化庁長官、現在日展理事長（金工））にお願いした。

第53回・第60回・第67回、そして今回第76回と4度目の審査をしていただいた。

総評では「作品一つ一つが生き生きとした力を発していた」ということであった。

◎第76回徳島県展選抜展が10月28日（金）～11月3日（木・祝）、吉野川市文化研修センターで開かれました。

◎最後になりましたが、美術工芸部委員の森賢一さん（木）が第14回「とくしま芸術文化賞」を受賞しました。

会員消息（県展・放美展は除く）

阿部 能則	・藍美展	11月	藍住町総合文化ホール
	・第50回全国公募徳島県手工芸展	11月	あわぎんホール
天野 和子	・第60回記念日本現代工芸美術展	4月	東京都美術館
	・第50回全国公募徳島県手工芸展	11月	あわぎんホール
	・第19回徳島版画展	11月	阿波銀プラザ
	・高知版画協会・徳島版画交流展	11月	いの町紙の博物館
	・第6回夢のはなパッチワークキルト展	12月	あわぎんホール
上田 優	・第7回jam公募展	1月	文房堂ギャラリー
		2月	ホルペインギャラリー
	・第3回トリエンナーレ 2022 国際切り絵コンクール in 身延ジャパン	8月	富士川・切り絵の森美術館
	・第28回徳島県健康福祉祭「美術展」（県知事賞）	12月	あわぎんホール
遠藤 勇	・藍美展	11月	藍住町総合文化ホール
	・第50回全国公募徳島県手工芸展	11月	あわぎんホール
遠藤 好子	・藍美展	11月	藍住町総合文化ホール
	・第50回全国公募徳島県手工芸展（努力賞）	11月	あわぎんホール
大内 敏男	・第50回徳島市芸術祭美術展（徳島市議会議長賞）	2月	シビックセンター
大貝 貞雄	・陶と造形、大貝貞夫・大貝寿子夫婦展	1 - 12月	藤モータースショールーム・ギャラリー
大貝 寿子	・陶と造形、大貝貞夫・大貝寿子夫婦展	1 - 12月	藤モータースショールーム・ギャラリー
越 由子	・第60回記念日本現代工芸美術展	4月	東京都美術館
	・第9回日展	11月	国立新美術館
近藤佐起江	・第50回徳島市芸術祭美術展（無鑑査）	2月	シビックセンター
	・第60回記念日本現代工芸美術展	4月	東京都美術館
	・第18回総合美術展	7月	吉野川市文化研修センター
	・2022年中国・四国・九州押花アート展 in 徳島（準大賞）	10月	たねのや

	・第50回全国公募徳島県手工芸展	11月	あわぎんホール
近藤美佐子	・第60回記念日本現代工芸美術展	4月	東京都美術館
	・第57回現代工芸美術家協会四国会展	8月	かまどホール
柴 純代	・第6回夢のはなパッチワークキルト展	12月	あわぎんホール
高瀬 裕司	・第50回徳島市芸術祭美術展（奨励賞）	2月	シビックセンター
多智花佐代子	・第60回記念日本現代工芸美術展（本会員出品）	4月	東京都美術館
	・第57回現代工芸美術家協会四国会展	8月	かまどホール
橋 恵	・藍のふるさと阿波古文書巡回展示藍染と作品展	2月	北島町立図書館 創成ホール
田村栄一郎	・第39回伝統的工芸品月間国民会議全国大会（伝統的工芸品経済産業大臣表彰）	11月	あきた芸術劇場 ミルハス
手塚 健一	・第50回全国公募徳島県手工芸展（招待）	11月	あわぎんホール
鳥井 明子	・第60回記念日本現代工芸美術展	4月	東京都美術館
	・第9回日展	11月	国立新美術館
内藤 久子	・第60回記念日本現代工芸美術展	4月	東京都美術館
	・第50回全国公募徳島県手工芸展	11月	あわぎんホール
	・第33回全国手工芸コンクール in ひょうご	11月	原田の森ギャラリー
	・第6回夢のはなパッチワークキルト展	12月	あわぎんホール
長尾 敏子	・第50回徳島市芸術祭美術展（無鑑査）	2月	シビックセンター
仁田 和子	・第18回総合美術展	7月	吉野川市文化研修センター
	・第6回夢のはなパッチワークキルト展	12月	あわぎんホール
福本美智代	・第60回記念日本現代工芸美術展	4月	東京都美術館
	・第9回日展	11月	国立新美術館
	・第50回全国公募徳島県手工芸展	11月	あわぎんホール
	・第6回夢のはなパッチワークキルト展	12月	あわぎんホール
藤井 哲信	・藤井哲信・藍色のガラス展	6月	ギャラリー M&M
	・第5回北近江サケガラス公募展	10月	長浜慶雲館
	・2022 伊丹国際クラフト展	11月	市立伊丹ミュージアム
藤中 教代	・第50回徳島市芸術祭美術展（無鑑査）	2月	シビックセンター
	・第50回全国公募徳島県手工芸展（努力賞）	11月	あわぎんホール
前野 亮治	・第53回モダンアート徳島支部展	1月	阿波銀プラザ
	・第72回モダンアート展	4月	東京都美術館
松下 敏之	・「青藍窯」松下敏之作陶展	4月	ギャラリー M&M
松永 卓司	・第28回徳島県健康福祉祭「美術展」（県議会議長賞）	12月	あわぎんホール
丸居 哲雄	・令和4年度全国現代クラフト展（努力賞）	9月	あわぎんホール
	・第28回徳島障がい者芸術祭エナジー 2022	10月	徳島県立近代美術館ギャラリー
森 賢一	・第60回記念日本現代工芸美術展	4月	東京都美術館
	・第57回現代工芸美術家協会四国会展	8月	かまどホール
	・第9回日展	11月	国立新美術館
山本 和子	・第60回記念日本現代工芸美術展	4月	東京都美術館

	・令和4年度全国現代クラフト展	9月	あわぎんホール
山本 由実	・第60回記念日本現代工芸美術展	4月	東京都美術館
吉野 由紀	・第50回徳島市芸術祭美術展（招待）	2月	シビックセンター
	・吉野由紀「花あそび」押花作品展	5月	徳島県立総合教育センター
	・令和4年度全国現代クラフト展	9月	あわぎんホール
	・2022年中国・四国・九州押花アート展 in 徳島（佳作）	10月	たねのや
四十宮年代	・第50回徳島市芸術祭美術展（特別出品）	2月	シビックセンター
龍木 秀子	・第60回記念日本現代工芸美術展（無鑑査）	4月	東京都美術館
	・第9回日展	11月	国立新美術館

書 道 部

部 会 長 隅 田 英 二

年間展望

2022 年もコロナ禍の 1 年であった。1 月には 1 日の県内感染者数が初めて 100 人を超え、8 月には 3000 人にも及んだ。ただ重症化リスクは低くなり、県民意識の変化もあって、県書道界も回復の兆しが見える年でもあった。2 年中止されていた放美展、そして県展ともに開催することができ、社中展もコロナ禍以前に戻りつつあるようである。

◎中止または延期された県内社中展

- ・第 46 回東玄書道会展（2 月開催を次年 2 月に延期）
- ・第 8 回青藍会書作展（3 月開催を 8 月に延期）
- ・第 34 回長玄書道会展（4 月開催を次年 7 月に延期）

◎第 28 回放美展（5 月 2 日（月）～5 日（木） あわぎんホール） ※以下敬称略、順不同

放美展はこれまで作品搬入から展示まで全てを 1 日で準備していたが、感染防止のため 2 日に分けて実施した。また審査は非公開とし、ギャラリートークも中止した。

応募点数 215 点（前回比－19 点） 応募人数 178 人（前回比－27 人）

準備に協力していただいた方は次のみなさん。

4 月 28 日（木）作品搬入 山口、背川、山口、荒井、隅田、新聞社関係者 4 名

4 月 29 日（金・祝）審査・展示 上田、岩本、山口、山口、背川、荒井、隅田、業者 8 人



会場写真



会場写真

◎第 76 回県美術展（10 月 19 日（水）～24 日（月） あわぎんホール）

今年もコロナ対策を講じた上、人数を制限して準備にあたった。とはいえ出品数が 600 点を超える書道部では延べ 135 名もの方々にご協力いただいた。県展は多くの方々の協力があってこそ開催できるもので、ここに厚くお礼を申し上げる次第である。

応募点数 613 点（前回比+4 点） 応募人数 368 人（前回比+7 人）

○書類搬入（9月24日（土） あわぎんホール）

主な業務：出品申込書全項目の確認、受付番号の記入、選抜展出品諾否確認・転記、出品料・協会費・清算書・領収証の確認・受取、出品一覧表の作成ほか

協力者：浜、丸田、玉城、長原、岩本、川端、竹田、加村、坪井、中尾、寺尾、山本、内田、阿部、戸出、吉田、養毛、日下、谷、平田、田上、谷本、高柳、板東、折野、阿部、荒井、隅田

○作品搬入（9月29日（木） あわぎんホール）

主な業務：作品の運搬・整理。出品票・側面添付票・出品一覧表・作品の照合ほか

協力者：西谷、塩田、丸岡、谷内、佐野、井上、松永、稲井、三宅、背川、杉本、村田、林、林、向井、安友、長井、谷、山口、能仁、野田、富永、山本、大西、岡崎、川端、岩本、荒井、隅田

○審査（9月30日（金）漢字篆刻、10月1日（土）仮名・近詩・前衛 あわぎんホール）

協力者は専門外の部門を担当するなど、公平・公正性に特に配慮した。また審査後は誤発表とならぬよう細心の注意と確認を行った。

審査員：漢字篆刻：高木 聖雨（日本芸術院会員）

仮 名：近藤 浩平（日展会員）

近代詩文・前衛：奈良 尚石（創玄書道会理事）

協力者：山口、岩本、日下、亀石、向井、川村、井上、福家、林、村田、高瀬、天羽、清水、荒井、隅田、業者5名

○写真撮影（10月2日（日） あわぎんホール）

書道部会発行の「書道作品集」は昨年やむなく見合わせたが、今年は協力者によって無事撮影を行い発刊することができた。編集は阿部珠雪さんに担当してもらった。

協力者：木田、佐藤、内藤、土井、岩本、宮守、向井、隅田、業者3名

○展示（10月18日（火） あわぎんホール）

作品総数359点を展示するのは大変な作業である。はじめに全作品を倉庫から展示室まで運搬し、その後に展示となる。従来は全ての作業を協力者にお願いしてきたが、高齢化と事故防止のため、協力者には展示室までの運搬のみをお願いし、展示は業者委託とした。ただ展示指導は各部門に主任を設けてお願いした。

主 任：岩本、川村、林、長井、亀石、山口、林、福家、隅田

協力者：西谷、折野、出口、背川、陶久、向井、市原、平岡、森岡、大井、中村、野口、田中、春藤、石井、石川、業者10名

○撤去（10月24日（月）午後4時より あわぎんホール）

撤去も大変な労力を要する。展示用鎖・S管・押しびん・名札等の回収、長机の片づけ、選抜展出品作の運搬・確認ほか。次の方々に協力いただいた。

協力者：栗林、伊達、木村、大久保、近藤美、松本、和田、藤本、鈴江、林、横田大、村田、川端、平岡、井上小、林、弘田、勝浦、花、宮守、岩本、隅田

○ラベル揮毫

揮毫者：山口、林美、向井、岩本、隅田



展示室への運搬



作品搬入・点検

会員消息（県展・県内社中展を除く）

◎中央展や県外展の役員出品者・入賞者（令和4年1月～令和4年12月）

○第63回太玄会書展（東京都美術館 1/20～26）

理事・総務 中尾勝子
理事・実行委員 西谷香峰・南 溪石
理事 鈴木恵理・弘田長風

○第53回正筆会書華書作展（東京銀座画廊 1/21～23）

常任総務理事 竹田和代

○第58回創玄展（国立新美術館 3/11～20）

一科審査員 荒井彭仙・玉城乾香・浜 佳香
二科審査員 永松春苑・多田清芳・岩本志豪・養毛翠琴・岡崎啓香・高瀬大峯
審査会員 吉田和婉・平岡幽琴・岸 緑香・朝三阜如・長原舉月・山口幽径
大西清葩・佐藤恵和・武田玲香・仁木志香・玉城乾舞・丸田恵風
野田満代
秀 逸 藤本瑤香・遠藤玻都恵・川又晃容

○第84回謙慎書道会展（東京都美術館 3/17～23）

常任理事 米澤東籬
理事 平田紀芳・石川翔芳
褒 状 山本翔柳

○第56回雪心会書作展（奈良県文化会館 3/24～27）

F ク ラ ス 青木東原

E ク ラ ス 吉村敬子・藤山真由里

○第9回轟友会書展（セントラルミュージアム銀座 4/6～10）

常 任 理 事 米澤東籬

○第76回日本書芸院展（大阪国際会議場 4/27～5/1）

参 与 薄田玲泉・能仁華瑤・伊丹東龍

評 議 員 上田輝芳・亀石文苑・辻 紅雲・福家美鶴・川村春琴・福永美泉
森 光翔・吉田翠彩

一科審査会員 清水桂月・河野真流・宮守崇流・松永翠月・八木藍玉・赤川景舟
井上虹雨・倉本景雨・加村喜美子・浅川蘭舟・四宮千春・林 美雪
河野多美・石井祥洸・勝浦光潔・背川景玲・松本景芳・山本景琴
佐野収華・井上景玄・高橋芳琴・青木東原・竹田和代・阿部博子
古川秀恵・田村元帥・後藤佳美・稲木裕美・恵美春陽・廣瀬蕙花

二科審査会員 岡部比登美・戸出芳泉・横田典子・笹 爽韻・折野佳子・寺尾俊通
杉本裕子・吉村敬子・藤山真由里・市原美希・田中子葉・吉岡春鶴
井上小百合・河野美鶴・田中紫苑・園尾恵風・靴真理子・向井境子

史 邑 賞 山本景琴

大 賞 岡部比登美・田中子葉・杉本裕子

準 大 賞 市原美希・河野美鶴・靴真理子

特 別 賞 一宮堆川・谷内花聲・畠山花鮮・杉本香苑

準 特 別 賞 木村秀光・大下江波・古谷和代

特 選 岩本義浩・稲井華風・佐竹夏実

一科推薦賞 松村就子

二科推薦賞 安丸華風・京野白燕

○第10回寄鶴文社書展（サンシャインシティ 5/26～29）

寄 鶴 文 社 賞 平田紀芳

○第73回朝陽書道会展（岡山県天神山文化プラザ 6/24～26）

顧 問 薄田玲泉

副 理 事 長 上田輝芳

専 務 理 事 井上虹雨・森 光翔

常 任 総 務 河野真流・宮守崇流・山本景琴

常 任 理 事 赤川景舟・倉本景雨・佐川菁流・井上景玄・背川景玲・松本景芳
廣瀬蕙花・高橋芳琴

○第36回玄心書道展（兵庫県原田の森ギャラリー 7/1～7/3）

副 会 長 伊丹東龍

常 任 総 務 辻 紅雲・福家美鶴・古川秀恵・吉田翠彩・勝浦光潔

総 務 理 事 田村元帥

参 与 浅川蘭舟
常 務 理 事 田中子葉
理 事 吉岡春鵬

○第45回記念由源全国書道展（大阪国際会議場 7/2～3）

理 事 川村春琴
常 任 委 員 丸岡春暁・中村春岳・山口幸琴・谷 令琴

○第50回日本の書展（大阪国際会議場 7/8～10）

招 待 能仁華瑤・清水桂月・伊丹東龍・薄田玲泉・上田輝芳・宮守崇流
川村春琴・井上虹雨・辻 紅雲・河野多美・福家美鵬・吉田翠彩
森 光翔・福永美泉・山本景琴・古川秀恵・勝浦光漾・河野真流
秀 抜 選 武市鳴雲・赤川景舟・倉本景雨・井上景玄・背川景玲・松本景芳
高橋芳琴・廣瀬蕙花・岩本志豪・吉田和婉・八木藍玉・田中子葉
戸出芳泉・四宮千春・高瀬大峯・田村元帥・佐野収華・恵美春陽
岩本義浩・佐川菁流

○第60回墨滴会全国書展（奈良県文化会館 7/8～10）

準 大 賞 戸出芳泉

○第73回毎日展（国立新美術館 7/13～8/7）（愛媛県立美術館 8/24～27）

審 査 会 員 荒井彭仙・玉城乾香
会 員 浜 佳香・多田清芳・岩本志豪・吉田和婉・平岡幽琴・長原舉月
高瀬大峯・幸田清尚・玉城乾舞・中川観山・養毛翠琴
秀 作 賞 大西清葩・岸 緑香・佐藤由紀代
佳 作 賞 川又晃容

○第59回水穂書展（京都市京セラ美術館 7/15～17）

総 務 向井京子

○第27回全日本高校・大学生書展（兵庫県民会館 8/23～28）

書 道 展 賞 前田翠琉

○第38回読売書法展（国立新美術館 8/26～9/4）（サンメッセ香川 10/14～16）

参 与 清水桂月
理 事 能仁華瑤・薄田玲泉・河野真流・伊丹東龍・上田輝芳・亀石文苑
宮守崇流・辻 紅雲・林 美雪・川村春琴・米澤東籬・井上虹雨
河野多美・竹田和代・福永美泉・福家美鵬・吉田翠彩・森 光翔
古川秀恵・山本景琴・勝浦光漾
幹 事 倉本景雨・井上景玄・背川景玲・松永翠月・佐野収華・青木東原
松本景芳・赤川景舟・加村喜美子・廣瀬蕙花・田中子葉・河野美鶴
岡部比登美・四宮千春・阿部博子・八木藍玉・鈴木恵理・田村元帥
嵯真理子・高橋芳琴
評 議 員 内田麻紀・杉本裕子・浅川蘭舟・石井祥洸・向井境子・節 爽韻
井上小百合・後藤佳美・平田紀芳・石川翔芳・折野佳子

読 売 俊 英 賞	加村喜美子
読 売 奨 励 賞	後藤佳美・廣瀬蕙花
特 選	谷内花登
秀 逸	恵美春陽・木村秀光・谷 令琴・畠山花鮮・吉岡春鶴・脇坂 優 寺尾俊通

○第63回墨華書道展（高松市美術館 9/22～25）

理 事	中川観山
同 人	佐藤由紀代

○第48回創玄現代書展（セントラルミュージアム銀座 11/1～6）

入 選	岸 緑香
-----	------

○第71回奎星展（東京都美術館 11/1～8）

同 人	中川観山
褒 賞	佐藤由紀代

○第9回日展（国立新美術館 11/4～11/27）

入 選	伊丹東龍・辻 紅雲・米澤東籬・森 光翔・亀石文苑・加村喜美子 靴真理子・田村元帥・中尾勝子・井上景玄・井上虹雨・廣瀬蕙花 宮守崇流
-----	---

○第74回正筆展（兵庫県原田の森ギャラリー 12/10～11）

常任総務理事	竹田和代・亀石文苑
総 務 理 事	加村喜美子・阿部博子・内田麻紀・靴真理子
常 任 理 事	脇坂 優・和泉和舟・井上小百合・折野佳子・杉本裕子・寺尾俊通 向井境子・中筋良江・田岡佐記子・関根史子
理 事	今津紫秋・中川年代・三宅葉子・濱口 恵・平尾卓美・古谷和代
正 筆 賞	三宅葉子
梅 花 賞	大久保雅子

◎県内社中展や個展等

○第54回清潮書作展	あわぎんホール	3月11日～ 13日
○第13回徳洋社書作展	県立文学書道館	3月25日～ 27日
○第42回書研社展	徳島市シビックセンター	3月25日～ 27日
○第49回光輪社書作展	県立文学書道館	3月25日～ 27日
○第28回歌の会書作展	県立文学書道館	4月 1日～ 3日
○第36回正鋒会書展	石井中央公民館	4月29日～ 5月 1日
○第8回虹光会書展	阿波銀ブラザ	4月29日～ 5月 1日
○第15回幽の会書展	徳島市シビックセンター	5月13日～ 15日
○第87回書芸院展	阿波銀ブラザ	9月 1日～ 4日
○第67回書協入展	あわぎんホール	9月16日～ 18日
○第8回青藍会書作展	あわぎんホール	9月16日～ 17日

○第28回三美書研展	美馬市地域交流センターミライズ	10月14日～	16日
○第8回琴清会展	阿波銀プラザ	10月14日～	16日
○第52回直心会書展	あわぎんホール	11月18日～	20日
○第25回せゝらぎ書展	県立文学書道館	11月18日～	20日
○第16回桐雲会書作展	県立文学書道館	11月24日～	26日
○第18回吉野川市書人会作品展	吉野川市文化研修センター	11月25日～	27日
○令和4年度高校教員書道展	県立文学書道館	12月 2日～	4日
○第42回臨池書展	徳島市シビックセンター	12月 3日～	4日
○第6回由源書心会展	県立文学書道館	12月10日～	12日
○第26回尚真書展	あわぎんホール	12月16日～	18日

※会派からの報告を受けて掲載しております。

掲載を希望される場合は、会派で取りまとめ12月20日までに部会長までお送りください。無所属の方は個人でお送りください。ただし掲載は美術家協会会員に限ります。

デザイン部

部会長 坂野 美恵子

年間展望

令和4年度は、昨年に引き続きコロナウイルスの為「徳島県美術展及び放美展」の審査は非公開で行われた。しかし、両美術展が開催されたことはデザインを愛する方々にとって喜ばしいことであった。また、今年度は今まで自粛していたデザイン部の展覧会を四国大学で開催することができ、四国大学の学生から高評価を頂いた。来年度は両展覧会の公開審査を期待したい。

◎第76回徳島県美術展（第2期 令和4年 10/12（水）～10/17（月） あわぎんホール）

審査員 新村則人氏（グラフィック デザイナー）

今回は、コロナの関係で出品数47点と少なかったが、審査評では「高校生の作品が上位を占め若手の意欲的なレベルの高い作品が目立った」と高評価を頂いた。



徳島県美術展 審査風景

◎第28回放美展（令和4年 5/2（月）～5/5（木） あわぎんホール）

審査員（田中一郎・敷島のり子・四十宮隆志）氏



放美展 審査風景

第28回放美展の出品数は86点でその内（高校生・高専生・大学生）が71点と若い出品者が大半を占めていた。

◎徳島県美術家協会 デザイン部 グラフィックデザイン展

(令和4年 12/13(火)～12/22(木) 四国大学 中央棟1階ロビー)

数年コロナの為デザイン部
会展を自粛していたが、今回、
四国大学で開催でき今後は個
展等会員の作品展を期待した
い。



デザイン部 グラフィックデザイン展

会員消息

■天羽 宏美

12月 徳島県美術家協会デザイン部 グラフィックデザイン展 作品出品
2022年12/13(火)～12/22(木) 四国大学 中央棟1階ロビー

■生田 典子

12月 徳島県美術家協会デザイン部 グラフィックデザイン展 作品出品
2022年12/13(火)～12/22(木) 四国大学 中央棟1階ロビー

■小林 あい

12月 徳島県美術家協会デザイン部 グラフィックデザイン展 作品出品
2022年12/13(火)～12/22(木) 四国大学 中央棟1階ロビー

■斎藤 繁次

11月 藍美展 2022年11/11～11/13 藍住町文化ホール

12月 徳島県美術家協会デザイン部 グラフィックデザイン展 作品出品
2022年12/13(火)～12/22(木) 四国大学 中央棟1階ロビー

12月 歳末チャリティー展

2022年12/15～12/18 アミコ6階催事場

■斎藤志津子

11月 藍美展 2022年11/11～11/13 藍住町文化ホール

12月 徳島県美術家協会デザイン部 グラフィックデザイン展 作品出品
2022年12/13(火)～12/22(木) 四国大学 中央棟1階ロビー

■斎藤 剛

- 12月 徳島県美術家協会デザイン部 グラフィックデザイン展 作品出品
2022年12/13(火)～12/22(木) 四国大学 中央棟1階ロビー

■坂野美恵子

- 9月 第106回 二科展デザイン部門 会員(審査員)作品出品
会期 2022年9/7(水)～9/19(月) 東京展・国立新美術館(六本木)
12月 徳島県美術家協会デザイン部 グラフィックデザイン展 作品出品
2022年12/13(火)～12/22(木) 四国大学 中央棟1階ロビー

■佐藤あすか

- 12月 徳島県美術家協会デザイン部 グラフィックデザイン展 作品出品
2022年12/13(火)～12/22(木) 四国大学 中央棟1階ロビー

■沢口 功

- 2月 第50回 徳島市芸術祭美術展デザイン部門 審査員作品出品
会場 徳島市シビックセンター3階ギャラリー
12月 第51回記念 歳末チャリティー美術展 作品出品(徳島新聞社会文化事業団)
12月 徳島県美術家協会デザイン部 グラフィックデザイン展 作品出品
2022年12/13(火)～12/22(木) 四国大学 中央棟1階ロビー

■敷島のり子

- 2月 第50回 徳島市芸術祭美術展デザイン部門 審査員作品出品
2022年2/17(木)～20(日) シビックセンター3階ギャラリー
4月 第80回記念展 世代美術展 会場:シビックセンター3階ギャラリー
2022年4/21(木)～24(日) シビックセンター徳島駅前アミコビル3階
12月 第51回 歳末チャリティー美術展
2022年12/15(木)～12/18(日) アミコ東館6階催事場
12月 徳島県美術家協会デザイン部 グラフィックデザイン展 作品出品
2022年12/13(火)～12/22(木) 四国大学 中央棟1階ロビー

■田中 一郎

- 3月 第30回 城東高校定期演奏会(ポスター・チラシ・チケット・プログラム・看板)
のデザイン制作
12月 徳島県美術家協会デザイン部 グラフィックデザイン展 作品出品
2022年12/13(火)～12/22(木) 四国大学 中央棟1階ロビー
12月 第51回 歳末チャリティー美術展出品(徳島新聞社会文化事業団)

■西林 良枝

- 2月 第50回 徳島市芸術祭美術展デザイン部門 特別出品
会場 徳島市シビックセンター3階ギャラリー
- 12月 徳島県美術家協会デザイン部 グラフィックデザイン展 作品出品
2022年12/13(火)～12/22(木) 四国大学 中央棟1階ロビー

■山野井宏宗

- 9月 106回 二科展デザイン部門(B部門) 特別テーマ・ポスター 入選
- 9月 二科会デザイン部 会友推挙
- 12月 徳島県美術家協会デザイン部 グラフィックデザイン展 作品出品
2022年12/13(火)～12/22(木) 四国大学 中央棟1階ロビー

■吉本 實

- 2月 第50回 徳島市芸術祭美術展デザイン部門審査員 B1ポスター審査員出品
2022年2/10(木)～2/20(日) 徳島市シビックセンター3階ギャラリー
[徳島市文化協会・(公財)徳島市文化振興公社]
- 12月 徳島県美術家協会デザイン部 グラフィックデザイン展 作品出品
2022年12/13(火)～12/22(木) 四国大学 中央棟1階ロビー

■四十宮隆志

- 2月 第5回 全ロシアポスターコンテスト(Russia.TheThird Path)
The Third Prize(3位入賞)「SOCIAL DISTANCE」
2月上旬・ロシア・トゥーラ市にて展示
- 2月 第50回 徳島市芸術祭(後期2月17日～20日)
デザイン部門特別出品 シビックセンター3F ギャラリー
- 2月 とくしまPR広告デザインコンテスト
デザイン審査委員長(徳島県庁) 徳島阿波おどり空港近辺設置
- 12月 徳島県美術家協会デザイン部グラフィックデザイン展
2022年12/13(火)～12/22(木) 四国大学 中央棟1階ロビー
- 12月 ペルーデザインビエンナーレ(PERU Design Biennale)
ポスター部門 Finalist(入選)「SOCIAL DISTANCE」
2023年1月～2月ペルー・リマ市にて展示予定

徳島県美術家協会規約

昭和 23. 9. 12	規約制定	昭和 61. 6. 21	規約一部改正
32. 7. 14	新規約制定	平成 4. 6. 27	"
33. 4. 29	規約一部改正	6. 6. 25	"
42. 4. 23	"	10. 6. 27	"
46. 4. 29	"	23. 6. 4	"
47. 5. 29	"	24. 6. 9	"
49. 8. 22	"	25. 6. 1	"
52. 7. 23	"	26. 6. 1	"
56. 5. 5	"	28. 6. 4	"
58. 6. 5	"	30. 5. 26	"

第1章 総 則

- 第1条 本会は徳島県美術家協会と称する。
- 第2条 本会は県内美術家の連絡を緊密にし県美術の育成発展をはかり美術を通じて県文化の向上につとめることを目的とする。
- 第3条 本会は徳島県に關係のある美術家をもって組織する。会員は次のいずれかの部に属する。
- ①日本画 ②洋画 ③写真 ④彫刻
⑤美術工芸 ⑥書道 ⑦デザイン
- 第4条 本会は目的を達成するために次の事業を行う。
- (イ) 展覧会 (ロ) 講習会 (ハ) 講演会
(ニ) 観光美術の振興 (ホ) その他必要な事業

第2章 役員および会員

- 第5条 本会に次の役員をおく。
- 会 長 副会長(2名) 事務局長
理 事(若干名) 監 事(2名)
- 会長、副会長、監事は総会で選出する。理事は各部会から5名以内推せんする。役員の任期は2年として留任をさまたげない。ただし、会長、副会長、理事においての選出は、80歳を限度とする。(任期途中で誕生日を迎えた場合はその任期終了までとする)
- 会長・副会長の総会での選出方法は、各部で代議員の中から2名の選考委員を選び、予め候補を選考した後、総会で選出する。
- 第6条 本会は顧問および特別会員を次の規定によりおくことができる。
- ①会長または副会長を10年以上務めた後、理事会で認められた者を顧問とする。
- ②理事または部会長を10年以上務めた者、若しくは各部会からの推せんにより理事会で認められた者を特別会員とする。
- 第7条 会長は会務を総理する。副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。事務局長はこの会の事務業務を統括する。監事はこの会の経理を監査する。
- 第8条 総会は毎年1回以上会長の招集により開き会計会務の報告、役員の選出、規約の改廃、その他重要事項の審議を行う。
- 総会は各部から選出した代議員によって構成し、出席代議員の過半数をもって議決する。代議員は30名以内の会員の部にあっては3名、31名以上の部にあっては、さらに10名毎に1名選出できる。ただし、最終端数の人員が算出された場合は、繰り上げるものとし1名を追加する。
- 第9条 理事会及び部会長会は必要に応じ会長が招集し総会の決議による会務および緊急事項を

執行する。事務局長は必要に応じ事務局員を招集し、事務分担を行う。

第3章 部 会

- 第10条 各部に次の役員をおく。
- 部会長・委員(部会員数の3割以内とするが、部の事情によってはこの限りではない)
- 部監事(2名)
- 事務局員(2名)
- 役員は部総会で選出する。役員の任期は2年とし留任をさまたげない。ただし、部会長においての選出は80歳を限度とする。(任期途中で誕生日を迎えた場合はその任期終了までとする)
- 第11条 部総会は毎年1回以上部会長の招集により開き、会計会務の報告、役員の選出その他重要事項の審議を行う。
- ただし、部の事情により、部委員会をもって総会にかえることができるものとする。
- 第12条 委員会は必要に応じ部会長が招集し部会務を執行する。
- 第13条 部会の決定事項中、各種事業を協会の名において行うときは、理事会の承認を必要とする。
- 第14条 各部の経費は部会1人当たり、1,750円とし、その他事業収益、寄付金をもってあてる。

第4章 経 費

- 第15条 本会の経費は会費、入会金、事業収益、寄付金その他をもってあてる。
- 第16条 会費は年額3,500円とし、入会金は1,000円とする。
- 第17条 会計年度は毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

内 規

- 1 (監事)
- 監事は、基本的に規約第3条の順に従って、2部会が役員の任期期間をつとめる。
- 2 (総会の議長)
- 総会の議長は、規約第3条の順に毎回持ち回りでつとめる。

(参 考)

- ☆昭和23年9月12日 設立総会及び発会式を徳島市役所3階議事場で行う。事務所を徳島新聞社内に置く。
- ☆昭和24年5月3日 事務所を憲法記念館(徳島公園内の県立図書館)内へ移す。
- ☆昭和25年12月18日 協会パッチを選定(図案は鬼塚副会長)
- ☆昭和33年4月29日 今迄常任委員で運営していた協会の組織を部制を設けて、各部会長及び各部委員を選出する。協会運営は各部から選出された理事(3名~5名)によることとする。
- ☆昭和46年4月29日 6部(日本画・洋画・写真・彫刻・美術工芸・書道)のうえに商業美術(58年度からデザインに改称)が加わり7部組織となる。
- ☆平成23年6月1日 事務局を事務局長の住所に置く。

後援承認事務取扱規定

(趣 旨)

第1条 この規定は、徳島県美術家協会（以下「協会」という。）以外の団体が自主的、自発的活動として行う教育、文化及び美術等の各種行事に対して、協会が後援又は共催若しくは推奨（以下「後援等」という。）をする場合の承認事務の取り扱いについて、必要な事項を定めるものとする。

(用語の定義)

第2条 この規定においての後援とは、協会以外の団体が計画した行事に、協会が当該行事の奨励及び助長をすることをいう。

(基本的な留意事項)

第3条 協会が美術展等を承認する場合は、次の事項に留意しなければならない。

- (1) 「後援等を承認する」ということは「協会の名義使用を認める」ということであり、それだけに他に及ぼす影響等を十分考慮し、過誤のないようにすること。
- (2) 安易に後援等を承認すると、一般市民の誤解を招き協会の信用をそこなうこととなるので、慎重に取り扱うこと。

(行事の主催者)

第4条 協会が後援等を承認する場合の主催者は、次の各号の一に該当するものでなければならない。

- (1) 教育、文化など協会の7部門に関係した機関及び団体。
- (2) 国又は地方公共団体及びそれらの機関。
- (3) 教育、文化機関及び美術研究団体。
- (4) 公益法人（宗教法人を除く。）及びこれに準ずる公共的団体。
- (5) その他、協会が特に認めたもの。

(承認の基準)

第5条 協会が後援等を承認する場合の行事内容は、「教育、文化及び美術等の普及向上に寄与するもので、公益性のあるもの。」でなければならない。ただし、次の各号の一に該当するものは後援等の承認をしないものとする。

- (1) 政治的、宗教的中立性を侵すおそれのあるもの。
- (2) 特定の流派等で、協会の後援に適さないもの。
- (3) 営利又は売名（個人、団体を問わない。）の意図をもって企画されているもの。
- (4) 行事の企画、運営等が適切でないと認められるもの。

- (5) その他、協会が後援等をすることを不適当と認めるもの。

(後援等の申請)

第6条 行事の主催者は、協会に後援等の承認を得ようとするときは、徳島県美術家協会後援名義使用承認申請書（様式第1号）を原則として30日前までに提出しなければならない。

- 2 前項の申請書には、行事計画及び行事内容の記載を必要とする。また、その内容によっては、協会が必要書類の提出を求めることがある。

(承認決定の通知)

第7条 協会は、後援等を承認決定したときは、徳島県美術家協会後援名義使用承認通知書（様式第2号）により申請者（主催者）に通知するものとする。

(後援等の取消し)

第8条 協会は、後援等を承認決定した後において、当該行事が次の各号の一に該当したときは、後援等を取り消すものとする。

- (1) この規定の第5条の規定に接触することとなったとき。
- (2) 後援等申請書が虚偽の申請であったとき。
- (3) 承認決定の条件に違反し、協会の指示に従わなかったとき。

附 則

- 1 この規定は、平成24年6月9日から施行する。

徳島県美術家協会後援名義使用承認申請書

年 月 日

徳島県美術家協会会長 様

申請者（主催者）

住 所 _____

団 体 名 _____

代表者名 _____ 印 _____

電話番号 _____ - _____ - _____

次の行事について徳島県美術家協会の後援名義使用承諾を得たいので関係書類を添えて申請します。

新規 ・ 継続（該当に○印をつけてください）

行 事 名	
開催日時（期間）	年 月 日（ ）～ 年 月 日（ ）
開 催 場 所 名	
開催場所所在地	
共 催 団 体 名	
他の後援団体名	
入 場 料	有（詳細を記入： _____） ・ 無
後援承認通知書 送付先住所氏名	〒 _____ 氏名 _____
行 事 概 要 （行事計画及び行事内容などを記載してください）	

注1） 共催団体名、他の後援団体名は予定のものも含めて記載してください

様式第1号

※コピーしてご利用ください

あ と が き

2022年もコロナ感染は収まらず、8月下旬には1日の感染者数が3000人を超える日もありました。ただ重症化リスクは低くなり、放美展と県展の準備・開催時期は感染者数も減少期で両展ともに無事開催することができました。

また本協会の後援数も一時は半減しておりましたが、今年度は55行事（80%）まで回復し、本県美術界もコロナ禍以前に戻りつつあるように感じられます。

県展では前回より開催の「現代アート展」を改称し「クリエイター部門」として開催されました。

さらに今回から「ギャラリー賞」が設けられました。来場者が入選作の中から1点を選び投票し、最多票の作品に与えられる賞です。会場では来場者が熱心に作品を鑑賞されていました。

このたびの「美術年報」の装丁は、書道部（事務局）の隅田が作成しました。表紙図は、中国・秦～漢時代の瓦当拓本を私が修正復元したものです。書体は篆書、とりわけ鳥虫篆と呼ばれます。文句は「永受嘉福」（右上、右下、左上、左下の順）、“永く幸せを受ける”意味です。裏表紙は瓦当「千秋」（右、左の順。千秋万歳の略）で縮小模刻しました。“永年の繁栄と長寿を祝う”意です。また背景には特大筆と松煙墨（青墨）を使って書いてみました。

昨年度から2年間、事務局を書道部が担当させていただきました。行き届かぬ点多かったことと存じますが、皆様のご協力によりまして無事終了することができました。心よりお礼申し上げます。5月の総会後から2年間デザイン部が事務局を担当します。引き続きご協力・ご支援賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、みなさまの創作活動と県内美術界がより一層充実・発展されますことをお祈りいたします。

令和5年3月

徳島県美術家協会

事務局長 隅田 英二

美術年報 2023

令和5年3月30日 印刷

令和5年3月31日 発行

編集者 隅田英二

装幀者 隅田英二

発行人 松永勉

印刷 星印刷株式会社

発行所 徳島県美術家協会
名西郡石井町下浦 929 隅田方

